

# すずむし

NO. 130

Aug. 1996

倉敷昆虫同好会

## 岡山県産コガネムシ類の追加記録及び訂正

竹内 幸夫\*・山地 治\*\*

筆者等は、今までに岡山県のコガネムシについて何回か報告しているが、その後追加すべき種や現在の分類では訂正すべき種が出てきたので、報告しておきたい。今回使用した種名は、すべて石田・藤岡（1988）によっている。

なお、標本の提供を頂いた三宅誠治・渡辺昭彦・渡辺和夫の各氏、貴重なデータをお教えくださり、また、同定の便を頂いた石田正明氏に感謝申し上げる。

また、頻繁に出てくる採集者名は、竹内=T、山地=Y、渡辺昭彦=Wと略記している。

若干の種には写真を添付したが、その番号はリストの番号に対応している。

1. *Trox mandli* BALTHASAR ヘリトゲコブスジコガネ  
大佐町伏谷, 1ex., 2. V. 1994, 三宅誠治氏採集

県内では他に中和村山乗山での記録がある。

2. *Panelus parvulus* (WATERHOUSE) マメダルマコガネ  
高梁市臥牛山, 1ex., 3. VI. 1989, W  
川上村蒜山大山道路, 1ex., 1. VII. 1992, Y  
御津町勝尾, 2 exs., 11. VI. 1989, Y

臥牛山では飛翔中の個体を、川上村では大木の洞から、御津町では草の葉上と切株上にいるものを採集した。

3. *Onthophagus fodiens* WATERHOUSE  
フトカドエンマコガネ  
川上村上蒜山牧場, 2 ♂, 5. X. 1991, Y  
奥津町大神宮原, 1 ♀, 19. X. 1989, Y  
東粟倉村後山, 1 ♂, 3. VI. 1990, Y  
県北の牧場ではどこでも見られる。

4. *O. nitidus* WATERHOUSE ツヤエンマコガネ  
鏡野町泉山, 1ex., 5. X. 1979, T  
英田町福本, 1ex., 18. V. 1980, T  
勝北町山形, 1ex., 25. VI. 1980, T  
御津町勝尾, 1ex., 24. V. 1981, T  
高梁市玉川町玉, 1ex., 28. VI. 1987, 渡辺和夫氏採集  
新見市豊永宇山, 1ex., 5. VII. 1987, 渡辺和夫氏採集  
久米南町山手, 1ex., 6. VI. 1981, W  
日生町日生, 1ex., 9. VI. 1991, Y  
各地に普通であるが、個体数は少なく、牛糞にはあまり集らない。
5. *O. trituber* (WIEDEMANN) ミツコブエンマコガネ  
岡山上石見, 1ex., 28. IX. 1941, K. Miyake leg. (神郷町野原付近と思われる。) (石田氏同定)  
本種は台湾などに分布する種で、日本からは知られていなかったが、石田氏によると最近になって兵庫県などで採集されたしたそうである。  
石田氏の所蔵標本に上記のラベルのついた標本があることをご教示いただいたので記録しておく。上石見は鳥取県日南町の地名であるが三宅(1941)の同日の採集記があり、この時の採集品であることが分かる。それによれば採集地は神郷町の野原付近であったようだ。最近まで日本未記録の種が50年以上も前に採集されていたことになる。

6. *Aphodius urostigma* HAROLD フチケマグソコガネ  
奥津町泉山, 13exs., 24. IX. 1979, T  
津山市太田, 6 exs., 29. IX. 1979, T  
勝北町山形, 2 exs., 27. IX. 1979, T  
阿波村大ヶ山, 1ex., 2. X. 1979, T  
津山市一宮, 5 exs., 5. X. 1979, T

\*〒708 津山市林田 790-1

\*\*〒701-12 岡山市芳賀 5116-11

津山市大崎, 2 exs., 8. X. 1980, T

新しい牧場では極めて多い。

7. *A. rugosostriatus* WATERHous スジマグソコガネ

上齋原村恩原, 1ex., 24. VI. 1954, T

最近の放牧場では見られなくなった。

8. *A. comatus* A. SCHMIDT

ヒメケブカマグソコガネ(ウスグロマグソコガネ)

種名訂正：泉山：竹内 (1962) (*A. choukaiensis* チョウカイマグソコガネ)

追加：鏡野町花知山, 2 exs., 15. V. 1960, T

川上村熊谷, 4 exs., 14. V. 1993, Y

9. *A. maderi* BALTHASAR コツヤマグソコガネ

鏡野町越畠, 2 exs., 11. VI. 1960, T

塙本 (1994) に岡出県に分布するように書かれて  
いる基になった個体である。

10. *A. pusillus* (HARVEST) コマグソコガネ

上齋原村恩原, 12exs., 20. V. 1980, T

奥津町泉山, 3 exs., 28. V. 1980, T

津山市一宮, 1ex., 10. IV. 1980, T

11. *A. nigrotessellatus* MOTSCHULSKY

セマダラマグソコガネ

津出市林田, 1ex., 12. IV. 1980, T

高梁市木野山, 1ex., 23. IV. 1972, Y

12. *A. mizo* (NAKANE) ミゾムネマグソコガネ

勝山町神庭滝, 10exs., 17. IV. 1980, T

〃, 8 exs., 30. XI. 1980, T

高梁市臥牛山, 7 exs., 4. IV. 1980, T

臥牛山からはすでに直海 (1978) の記録がある。

サルの多いところには必ずと言っていいほど生息  
している。

13. *A. rectus* (MOTSCHULSKY) マグソコガネ

勝山町神庭滝, 3 exs., 17. IV. 1980, T

津山市林田, 1ex., 3. XI. 1980, T

津山市一宮, 22exs., 10. IV. ~19. XI. 1980,

T

勝北町山形, 3 exs., 18. V. 1980, T

14. *A. breviusculus* (MOTSCHULSKY)

ヌバタママグソコガネ

勝北町山形, 3 exs., 18. V. 1980, T

勝山町神庭滝, 4 exs., 17. IV. 1980, T

津山市一宮, 8 exs., 10. V. 1980, T

奥津町泉山, 5 exs., 16. V. 1980, T

〃, 1ex., 28. V. 1980, T

鏡野町越畠, 3 exs., 15. V. 1960, T

阿波村大ヶ山, 4 exs., 18. V. 1980, T

新見市豊永佐伏, 1ex., 29. IV. 1987, 渡辺和夫

### 氏採集

川上村熊谷, 5 exs., 14. V. 1993, Y

山地の放牧場では初夏に普通。

15. *A. sordidus* (FABRICIUS) ヨツボシマグソコガネ

勝北町山形, 1ex., 22. XI. 1980, T

津山市一宮, 2 exs., 5. X. 1979, T

阿波村大ヶ山, 2 exs., 2. X. 1979, T

新庄村, 1ex., 13. X. 1979, T

奥津町泉山, 5 exs., 24. IX. 1979, T

鏡野町越畠, 2 exs., 11. VI. 1960, T

津山市大崎, 1ex., 8. X. 1979, T

津山市大田, 3 exs., 29. IX. 1979, T

16. *A. uniplagiatus* WATERHOUSE オビマグソコガネ

上齋原村恩原, 1ex., 24. VI. 1959, T

鏡野町泉山, 2 exs., 11. VI. 1960, T

〃, 3 exs., 6. VIII. 1980, T

17. *A. sublimbatus* (MOT Schulsky)

ウスイロマグソコガネ

津山市一宮, 4 exs., 5. X. 1979, T

奥津町泉山, 4 exs., 6. VII. 1980, T

〃, 3 exs., 6. VIII. 1980, T

津山市大田, 5 exs., 29. IX. 1979, T

中和村山乘山, 1ex., 8. VII. 1990, W

岡山市中島(百間川), 1ex., 21. V. 1989, Y

18. *A. brachysomus* SOLSKY セマルオオマグソコガネ

鏡野町 泉山, 1ex., 3. V. 1959, T

極めて稀なようで、現在までこの1頭しか採集  
されていない。

19. *A. uniformis* WATERHOUSE エゾマグソコガネ

川上村鬼女台, 1ex., 7-8. IX. 1991, 渡辺和夫  
氏採集

20. *A. pratensis* NOMURA et NAKANE

マキバマグソコガネ

新庄村, 4 exs., 13. X. 1979, T

勝北町山形, 5 exs., 22. X. 1980, T

奥津町泉山, 3 exs., 7. XI. 1967, T

〃, 2 exs., 24. IX. 1979, T

奥津町大神宮原, 9 exs., 19. X. 1985, Y

上齋原村恩原牧場, 5 exs., 9. X. 1979, T

〃, 9 exs., 14. X. 1990, Y

低地の牧場では見られないようである。

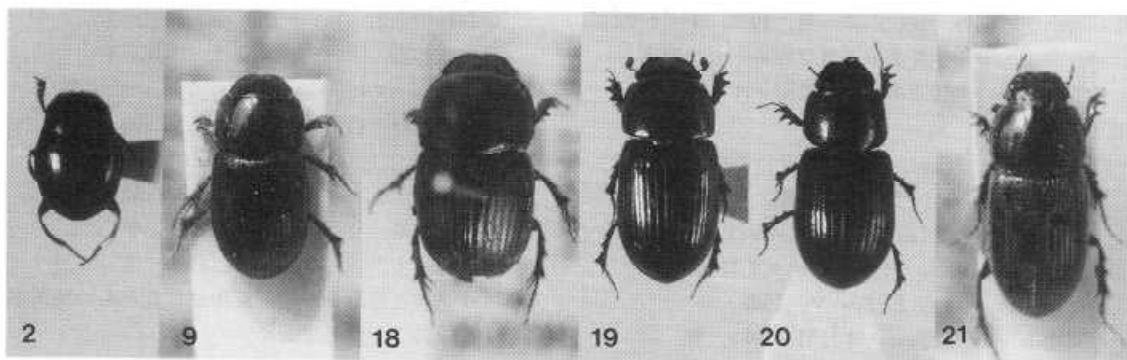
21. *A. variabilis* WATERHOUSE クロモンマグソコガネ

久米町坪井上, 2 exs., 22. XI. 1957, T

畑にまいた下肥に集った。牧場では得られない。

22. *A. atratus* WATERHOUSE クロツヤマグソコガネ

奥津町泉山, 2 exs., 16. V. 1980, T



牛糞から採集したが、他の獣糞の方を好むようである。

23. *Saprosites japonicus* WATERHOUSE  
クロツツマグソガネ  
総社市作原, 1ex., 14. V. 1989, W  
岡山市大島, 1ex., 5. V. 1991, Y
24. *Hoplia moerens* WATERHOUSE  
クロアシナガコガネ  
鏡野町花知山, 3 exs., 6. VI. 1959, T
25. *Maladera japonica* (MOTSCHULSKY)  
ビロウドコガネ  
津山市黒沢山, 1ex., 23. VII. 1984, T  
上斎原村辰巳峠, 1ex., 12. VIII. 1986, T  
鏡野町花知山, 1ex., 12. V. 1985, T  
川上村上徳山, 1ex., 17. VI. 1990, T
26. *Serica brevitarsis rectipes* NOMURA  
ヒメコヒゲナガビロウドコガネ  
上斎原村辰巳峠, 9 exs., 24. VII. 1987, T  
ク , 3 exs., 2. VIII. 1988, T  
川上村皆ヶ山, 4 exs., 4. VIII. 1989, T  
中和村山乗山, 4 exs., 9. VIII. 1986, T (石田正明氏同定)
27. *S. boops* WATERHOUSE  
ヒゲナガビロウドコガネ  
削除: 鏡野町越畑: 竹内(1959): 花知山, 後山: 竹内(1962)  
追加記録: 津山市黒沢山, 1ex., 31. VII. 1970, T  
中和村山乗山, 3 exs., 9. VIII. 1986, T (石田正明氏同定)
28. *Nipponoserica similis* (LEWIS)  
カバイロビロウドコガネ  
削除: 久米町: 竹内(1959, 1962)  
追加記録: 川上村皆ヶ山, 1ex., 4. VIII. 1989, T
29. *N. setiventris* NOMURA  
イワワキビロウドコガネ  
津山市林田, 1ex., 23. VII. 1984, T  
ク , 1ex., 23. VI. 1989, T  
高梁市落合, 1♂ 2♀, 10-20. V. 1988, W  
津山市黒沢山, 1ex., 23. VII. 1984, T

- 久米町坪井上, 1ex., 10. V. 1959, T
30. *Serica nipponica* (NOMURA)  
ヤマトビロウドコガネ  
奥津町泉源, 2 exs., 24. VII. 1993, T  
中和村山乗山, 5 exs., 9. VIII. 1986, T (石田正明氏同定)  
上斎原村辰巳峠, 1ex., 24. VII. 1987, T  
山地で灯火によく集まる。
31. *S. nitididorsis opacidorsis* NOMURA  
ニセホソビロウドコガネ  
東栗倉村後山, 1ex., 29. VII. 1962, T  
比較的標高の高いところで灯火によく集まる。
32. *S. nitidiceps* (NOMURA)  
ツヤズビロウドコガネ  
中和村山乗山, 1es., 21. VIII. 1987, T (石田正明氏同定)
33. *Sericania matusitai* SAWADA  
マツシタチャイロコガネ  
高梁市落合, 3 exs., 10-20. V. 1988, W  
高梁市臥牛山, 2 exs., 4. VI. 1988, W  
熊山町熊山, 1ex., 23. IV. 1972, W  
全て石田正明氏の同定による。
34. *S. fuscolineata nipponensis* NOMURA  
ヤマトチャイロコガネ  
東栗倉村後山, 3 exs., 1. V. ~ 5. V. 1988, T (石田正明氏同定)
35. *S. fulgida lineata* SAWADA  
スジチャイロコガネ  
加茂町倉見, 1ex., 23. V. 1963, T  
西栗倉村若杉峠, 1ex., 6. VI. 1990, T  
ク , 2 exs., 11. VI. 1990, T  
ク , 3 exs., 21. VI. 1990, T  
奈義町滝山, 2 exs., 22. VI. 1969, T  
全て石田正明氏同定。カエデ, サワフタギ等の花にセスジチャイロコガネと共に多いが、両者によく似た個体が多いため同定は大変難しく、保留の個体が残っている。
36. *S. chikuzensis* SAWADA  
チクゼンチャイロコガネ

種名訂正：新庄村，lex.，2. VI. 1959，T [竹内(1959, 1962)でルイスチャイロコガネとして報告したものであるが、本種であったので訂正する]

追加記録：

- 高梁市落合，2exs.，10-20. V. 1986，W
- 川上町西野，lex.，5. V. 1986，W
- 上齋原村三ヶ上，lex.，13. V. 1973，W
- 37. *S. imadatei* SAWADA イマダテチャイロコガネ  
高梁市落合，3exs. 10-20. V. 1988，W
- 高梁市臥牛山，2exs.，4. VI. 1988，W  
両データとも石田正明氏同定。
- 38. *S. yamauchii* SAWADA ヤマウチチャイロコガネ  
高梁市臥牛山，lex.，4. VI. 1988，W (石田正明氏同定)
- 39. *S. awana* NOMURA アワチャイロコガネ  
西粟倉村若杉峠，lex.，28. VI. 1970，T  
鏡野町花知山，1♀，31. V. 1964，T  
両データとも石田正昭氏同定。鳥取県大山産も2exs.あり、分布は比較的広い？
- 40. *S. kobayashii* NOMURA コバヤシチャイロコガネ  
御津町金川，lex.，22. IV. 1973，W (石田正明氏同定)
- 41. *S. sutralis* NOMURA セスジチャイロコガネ  
西粟倉村若杉峠，4exs.，11. VI. 1990，T (石田正明氏同定)  
加茂町倉見，3exs.，28. VI. 1965，T  
鏡野町花知山，lex.，13. V. 1971，T
- 42. *Blitopertha conspurcata* (HAROLD) カタモンコガネ  
津山市林田，2exs.，24. V. 1964，T  
〃，lex.，6. IV. 1980，T  
〃，lex.，27. V. 1984，T  
〃，lex.，26. V. 1993，T  
八束村，lex.，30. VI. 1974，T
- 43. *Mimela takemurai* SAWADA タケムラスジコガネ  
上齋原村辰巳峠，lex.，2. VIII. 1988，T  
鏡野町花知山，2exs.，14. VII. 1963，T
- 44. *M. dificilis* WATERHOUSE ツヤスジコガネ  
上齋原村恩原，lex.，15. VII. 1962，T  
〃，lex.，11. VII. 1979，T  
川上村皆ヶ山，lex.，4. VIII. 1989，T
- 45. *Anomala japonica* ARROW ヤマトアオドウガネ  
津山市林田，3exs.，3. VIII. 1986，T  
岡山市犬島，lex.，8. VII. 1990，Y
- 46. *A. lucens* BALLION ツヤコガネ  
上齋原村辰巳峠，4exs.，24. VIII. 1987，T  
鏡野町花知山，lex.，14. VII. 1963，T

中和村山乗山，lex.，25. VIII. 1987，T

津山市林田，2exs.，27. VIII. 1987，T

47. *Eucecetonia pilifera* (MOTSCHULSKY) ハナムグリ

津山市 野介代，lex.，4. V. 1992，T

〃，2exs.，5. V. 1995，T

〃，4exs.，7. V. 1995，T

津山市川崎，lex.，3. V. 1979，T

英田町福本，lex.，12. V. 1980，T

普通種と思われるが、県中部以北からの報告が少ないので記録しておく。

48. *Rhomborrhina polita* WATERHOUSE クロカナブン

高梁市臥牛山，lex.，2. VIII. 1970，Y

49. *Protaetia cataphracta* ARROW

ムラサキツヤハナムグリ

削除：久米町西部：竹内(1958)の記録は別種の間違いと思われる所以削除する。

追加記録：上齋原村三ヶ上，1♀，1.VI. 1974，W

訂正：以下の2種は発表当時の和名が現在使われていないので、現在使われている種名に訂正する。

アオススジコガネ、花知山：竹内(1959)

→*Phyllopertha intermixta* (ARROW)

アオスチャコガネに訂正

キコガネ：久米町：竹内(1959)

→*Pollaplonyx flavidus* WATERHOUSE

オオキイロコガネに訂正

削除：以下の4種は古い図鑑によって報告したものであるが、現在ではどの種にあたるのか標本の所在も不明になったため、記録そのものを削除する。

マルエンマコガネ：泉山、花知山：竹内(1962)

(コブマルエンマコガネの間違いと思われる。)

ウスキイロコガネ：久米町西部：竹内(1957)

キイロヒメコガネ：久米町西部：竹内(1958)

キンスジコガネ：久米町西部：竹内(1957)

(スジコガネの色変わりと思われる。)

## 参考文献

石田正明・藤岡昌介(1988)：日本産コガネムシ主科目録(第一版補訂版)

竹内幸夫(1956)：久米町西部(大井西地区)の昆虫分布について(その1), 美作の自然(二)：23-24

竹内幸夫(1957)：久米町西部の昆虫分布(その二), 美作の自然(三)：32-33

竹内幸夫(1958)：久米町西部産昆虫目録(第三報), 美作の自然(四)：7-9

竹内幸夫 (1959) : 美作産ゾウムシ類について、美作の自然 (五) : 29-31

竹内幸夫 (1960) : テントウムシ 2種の新産地、すずむし, 10 (1) : 5

竹内幸夫 (1961) : 昆虫の習性あれこれ、美作の自然 (7) : 38

竹内幸夫 (1962) : 美作地方のコガネムシ類目録、すずむし, 12 (4) : 1-2

三宅 淑 (1941) : 岡山縣北上石見糞虫採集記、岡山一中科學班、博物部會報第 6 號 : 63-68

塚本珪一 (1994) : 日本糞虫記—「糞虫からみた日本列島の自然」、青木社

## おどしへみ

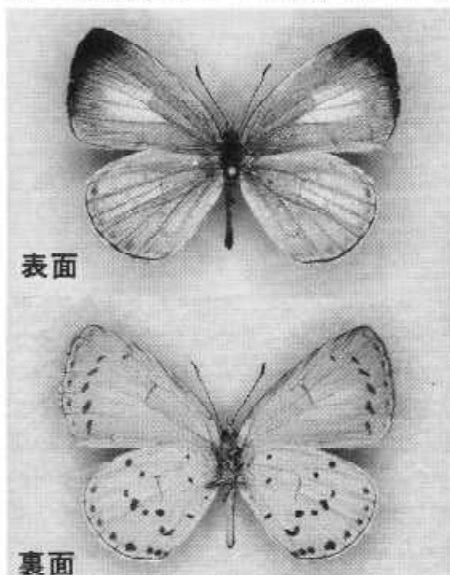
### 北房町でサツマシジミを採集

中 村 具 見

サツマシジミは、岡山県下では吉田郡上齋原村の県立森林公園（難波, 1992）において初めて確認され、その後、新見市豊永佐伏（安田, 1995）で 1 ♂が、また阿哲郡大佐町大佐山（広瀬, 1996）で 1 ♀が採集されているだけである。

筆者は、上記の新見市や大佐町に隣接する北房町において本種を得ているので報告しておく。

1 ♀, 上房郡北房町阿口 (500m), 16. VII. 1995



山腹を巻くように付けられた林道沿いのヒノキの植林が途切れて、日当たりのよい鞍部に出たあたりを調査していた時に、林縁の地上近くを飛ぶ小さなシジミチョウが認められたので、何気なくネットしたところ本種であった。

採集するまでは、もちろん本種とは思ってもいなかったが、飛翔中の印象としてはルリシジミにしてはブルーの光沢が濃く鮮やかで、その輝きが一際強かったように見えたと記憶している。

破損一つない極めて新鮮な個体であり、この付近で

発生した可能性が強いように思われる。

末筆ながら、文献等について御教示いただいた奥島雄一・山地治・渡辺和夫の各氏に深謝する次第である。

#### 引用文献

難波通孝 (1992) 岡山県内でサツマシジミ、月刊むし (259) : 30-31

安田達史 (1995) 岡山県新見市におけるサツマシジミの採集記録、月刊むし (298) : 20

広瀬正明 (1996) サツマシジミを大佐山で採集、すずむし (129) : 1-2

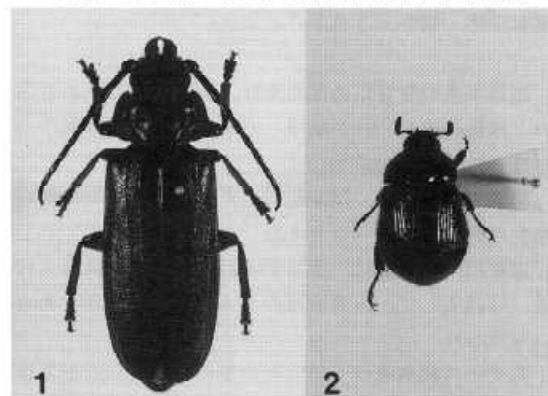
(〒719-11 総社市真壁1048)

### 臥牛山における甲虫 2 種の記録

土 煙 重 人

筆者は、高梁市臥牛山において、岡山県では記録の少ない下記の甲虫 2 種を確認したので、参考のため報告しておく。

1. *Euryptoda batesi* ベーツヒラタカミキリ (写真 1)  
1 ♂, 17. VII. 1995, 筆者採集・保管
2. *Ohkubous ferrieri* ヨツバコガネ (写真 2)  
Iex., 17. VII. 1995, 土煙源作採集, 筆者保管



両種とも、同日午後 9 時頃、ライトトラップに飛来したものである。

(〒711 倉敷市児島通生236-3)

## キイロヤマトンボの岡山県における分布と新産地

守 安 敦\*

キイロヤマトンボ *Macromia daimoji* OKUMURA は、福島県以南の本州と九州に分布する稀種である。本種の岡山県での産地は、倉敷市種松山山系（守安, 1994a）、倉敷市酒津、倉敷市水江（以上、守安, 1994b）、後月郡芳井町（守安, 1996）、岡山市宿（大島, 1996）が報告されている。

筆者は、新たに旭川水系、吉井川水系、高梁川水系の合わせて8カ所で、本種幼虫を採集したので報告しておく。

幼虫lex., 御津郡御津町宇甘（宇甘川）、3. I. 1996, 筆者採集・保管

幼虫lex., 御津郡御津町紙工（宇甘川）、3. I. 1996, 筆者採集・保管

幼虫lex., 岡山市牟佐林原（旭川）、7. I. 1996, 筆者採集・保管

幼虫lex., 赤磐郡熊山町徳富（吉井川）、7. I. 1996, 筆者採集・保管

幼虫lex., 岡山市吉井（吉井川）、7. I. 1996, 筆者採集・保管

幼虫2exs., 高梁市川面町西屋（高梁川）、25. V. 1996, 筆者採集・保管

幼虫lex., 総社市種井（高梁川）、25. V. 1996, 筆者採集・保管

幼虫lex., 総社市宍粟（高梁川）、16. VI. 1996, 筆者採集・飼育（7月1日♂羽化）

旭川水系の宇甘川の採集地は、いずれも砂止め堤防の上流側の細かい砂が堆積した場所である（写真1, 写真2）。

旭川の採集地は、川が蛇行した内側の細かい砂が堆積した場所である（写真3）。

吉井川の採集地は、徳富が小野田川との合流地点付近（写真4）で、吉井が堰の上流側にある砂地である（写真5）。

高梁川の採集地は、川面町が橋のたもとに広がる砂地（写真6），種井が休憩所の裏側の砂地（写真7），宍粟が豪渓秦橋近くの船着き場（写真8）である。

これらの産地を今までの記録も含めて岡山県地図に

プロットすると、図のようになる。これを見ると、各水系の中・下流域で本種が採集されていることがわかる。



岡山県におけるキイロヤマトンボの産地

★ 今回の新産地

● 今まで報告のあった産地

村木（1994）によると、本種の生息場所として、人工的につくられた堰の上部の砂がたまっているところ、川幅の広い川が蛇行したために砂がたまっているところ、れき質底であるが一部にくぼみがあり、そこに砂がたまっているところをあげているが、今回の採集地は、いずれもこのような場所であった。採集地が中・下流域に片寄っているのは、どの水系も中・下流部にこのような条件の場所ができることが多いためであろう。

本種が岡山県でこれだけ広く分布していることから、兵庫県から山口県にかけての山陽側の大きな河川の中・下流域にも、広く分布している可能性が高いように思われる。今後の詳しい調査が必要であろう。

### 引用文献

守安敦, 1994 a, 最近の種松山山系のトンボ, すずむし, (128) : 1-3.

守安敦, 1994 b, 高梁川のキイロヤマトンボ, しぜんしくらしき, (11) : 12.

守安敦, 1996, キイロヤマトンボ幼虫を岡山県西部及

\*〒710 倉敷市浦田2430

び広島県東部で採集。すずむし, (129) : 20.  
村木明雄, 1994. 絶滅危惧種キイロヤマトンボに関する報告. 昆虫と自然, 29 (7) : 19-26.

大島康宏, 1996. 岡山市内におけるキイロヤマトンボ採集記録, すずむし, (129) : 40.

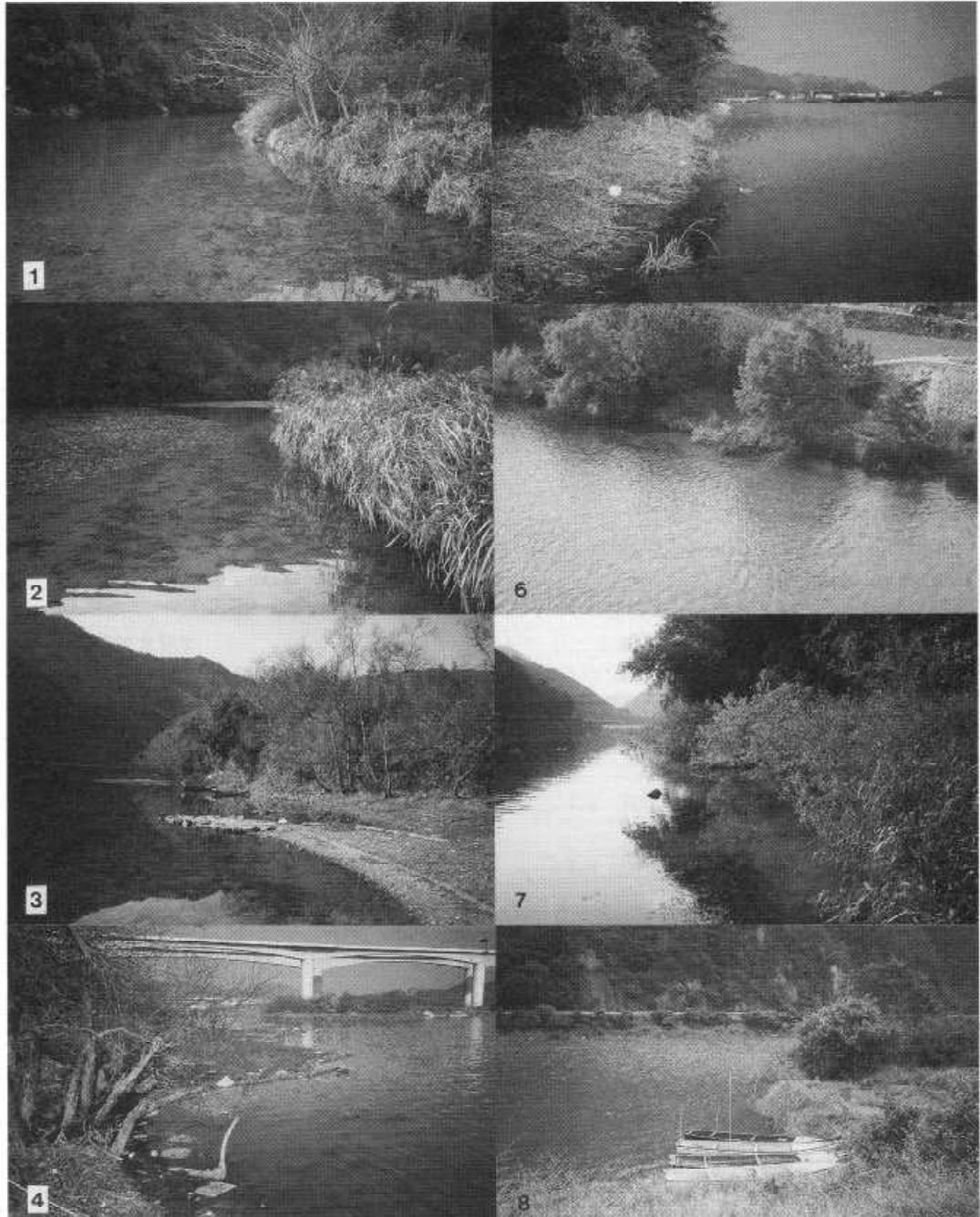


写真 1 御津郡御津町宇甘

写真 2 御津郡御津町紙工

写真 3 岡山市牟佐林原

写真 4 赤磐郡熊山町徳富

写真 5 岡山市吉井

写真 6 高梁市川面町西屋

写真 7 総社市種井

写真 8 総社市穴粟

## 伊藤芳明氏寄贈標本からの岡山県産昆虫目録 [その3]

小 野 洋\*

今回と次回は、甲虫類の県内の記録を紹介させていただく。甲虫類標本は全部で190点を数えるが、ほとんどはハムシとコガネムシで、今回報告するハムシについては67点の標本が県内地域で採集されたものである。ハムシ以外は次回に報告する予定である。

種名は、現在の分類にしたがって訂正させていただいたものも多い。しかし、採集データは前回までと同様、ラベルに記入されているとおりを記載した。

このグループの県内記録その他、いろいろと御教示いただいた岡山市の山地治氏に深謝の意を表する。

## 目 錄

## III. COLEOPTERA

## 1. Chrysomelidae ハムシ科

1. *Donacia provostii* FAIRMAIRE イネネクイハムシ  
岡山市門田屋敷, 1ex., Aug.16, 1940, Y.I
2. *Lema concinnipennis* BALY  
キバテルリクビボソハムシ  
岡山市外澤田, 1ex., May 8, 1939, Y.I
3. *L. decempunctata* GEBLER トホシクビボソハムシ  
岡山市国富六高, 1ex., May 3, 1939, Y.I
4. *L. diversa* BALY アカクビボソハムシ  
岡山市外財田村, 1ex., May 31, 1939, Y.I
5. *L. honorata* BALY ヤマイモハムシ  
岡山市外牧石村, 1ex., May 28, 1940, Y.I
6. *Physosmaragdina nigrifrons* (HOPE)  
クロオビツツハムシ  
岡山市外澤田, 1ex., Jul.28, 1939, Y.I
7. *Smaragdina nipponensis* (CHUJO)  
キロナガツツハムシ  
岡山市六高, 1ex., May 23, 1939, Y.I
8. *S. semiaurantiaca* (FAIRMAIRE) ムナキルリハムシ  
岡山市外; 金山, 1ex., Apr.28, 1940, Y.I
9. *Cryptocephalus approximatus* BALY  
パラルリツツハムシ  
岡山市外牧石村, 1ex., Jun. 4, 1939, Y.I
10. *C. signaticeps* BALY クロボシツツハムシ

\* 〒710 倉敷市酒津2580-50

- 岡山市六高, 1ex., May 15, 1939, Y.I
11. *Acrothinium gaschkevitchii* (MOTSCHULSKY)  
アカガネサルハムシ  
岡山, 御津, 金川, 1ex., May 21, 1939, Y.I
  12. *Basilepta fulvipes* (MOTSCHULSKY)  
アオバネサルハムシ  
岡山市神宮寺, 3 exs., Jun.15, 1939, Y.I
  13. *B. pallidula* BALY ウスイロサルハムシ  
岡山市門田, 1ex., May 12, 1939, 栗原稔茂
  14. *Cleoporus variabilis* (BALY) サクラサルハムシ  
岡山市三野, 1ex., Jul.10, 1939, T.Kurihara
  15. *Colaspisoma dauricum* (MANNERHEIM)  
イモサルハムシ  
岡山市外, 金山, 1ex., Jun.13, 1940, Y.I
  16. *Demotina modesta* BALY カサハラハムシ  
岡山市門田, 2 exs., Jul.12, 1939, Y.I
  17. *Hyperaxis fasciata* (BALY)  
クロオビカサハラハムシ  
岡山市三野, 1ex., May 9, 1939, Y.I
  18. *Chrysolina aurichalcea* (MAMMERHEIM)  
ヨモギハムシ  
岡山市北方階行社, 1ex., Nov.6, 1939, Y.I
  19. *Chrysomela populi* LINNAEUS ドロノキハムシ  
岡山市外牧石村, 1ex., Jul.30, 1939, Y.I
  20. *Gastrolina depressa* BALY クルミハムシ  
岡山, 御津, 宇甘溪, 1♂ 1♀, May 21, 1939,  
Y.I
  21. *Gonioctena rubripennis* BALY フジハムシ  
岡山市神宮寺, 1ex., Apr.29, 1939, Y.I
  22. *Phaedon brassicae* BALY ダイコンハムシ  
三番町(岡山市), 1ex., Oct.16, 1938, S.M.  
岡山市門田屋敷, 1ex., Mar.23, 1940, Y.I
  23. *Plagioderma versicolora* (LAICHARTING)  
ヤナギルリハムシ  
岡山市神宮寺, 1ex., May 13, 1939, Y.I
  24. *Arthrotus niger* MOTSCHULSKY ムナグロツヤハムシ  
岡山, 真庭, 勝山町, 1ex., May 20, 1940, Y.I

25. *Atrachya menetriesi* (FALDERMANN) ウリハムシモドキ  
岡山市六高, 2 exs., Jun. 23, 1939, Y.I  
岡山市六高, 3 exs., Jun. 27, 1939, Y.I
26. *Aulacophora femoralis* (MOTSCHULSKY) ウリハムシ  
岡山市門田屋敷, 2 exs., Jun. 16, 1939, Y.I
27. *Fleutiauxia armata* (BALY) クワハムシ  
岡山, 御津, 宇甘溪, 1ex., May 21, 1939, Y.I  
岡山市神宮寺, 1ex., Apr. 29, 1939, Y.I
28. *Galerucella grisescens* (JOANNIS) イチゴハムシ  
岡山, 上道, 砂川, 2 exs., Aug. 27, 1940, Y.I  
岡山市三野, 1ex., May 13, 1939, Y.I
29. *Gallerucida bifasciata* MOTSCHULSKY イタドリハムシ  
岡山, 和気町外, 芳嵐園, 2 exs., Apr. 9, 1938, Y.I
30. *Liroetis coeruleipennis* WÄSE ルリバネナガハムシ  
岡山市門田屋敷, 1ex., Oct. 17, 1938, Y.I  
岡山, 御津, 宇甘西村, 1ex., May 21, 1939, Y.I
31. *Medythia nigrobilineata* (MOTSCHULSKY) フタスジビメハムシ  
岡山市外牧石村, 1ex., May 28, 1940, Y.I
32. *Monolepta dichroa* HAROLD ホタルハムシ  
岡山市六高, 1ex., Jul. 30, 1939, Y.I
33. *M. pallidula* (BALY) キイロクワハムシ  
岡山市六高, 1ex., Jun. 16, 1939, Y.I
34. *M. kurosawai* CHUJO et OHNO ムネアカウスイロハムシ  
岡山市六高, 1ex., Jun. 27, 1939, Y.I
35. *Paridea quadriplagiata* (BALY) ヨツボシハムシ  
岡山市外牧石村, 1ex., Jun. 12, 1939, Y.I
36. *Pyrrhalta humeralis* (CHEN) サンゴジュハムシ (写真 1)  
岡山, 真庭, 勝山, 1ex., Jun. 16, 1940, Y.I
37. *Sinoluperus nipponensis* (LABOISSIERE) ヒゲナガウスバハムシ  
岡山, 真庭, 勝山町, 1ex., May 20, 1940, Y.I
38. *Altica latericosta subcostata* OHNO スジカミナリハムシ  
岡山市門田屋敷, 1ex., Jun. 19, 1939, Y.I
39. *A. viridicyanea* (BALY) コカミナリハムシ  
三番町 (岡山市), 1ex., May 9, 1938, S.M
40. *Argopus clypeatus* BALY オオアカマルノミハムシ  
岡山市外牧石村, 1ex., May 4, 1939, Y.I  
岡山市外牧石村, 1ex., Jun. 4, 1939, Y.I
41. *Hemipyxis plagioderoides* (MOTSCHULSKY) ヒゲナガルリマルノミハムシ  
岡山, 真庭, 勝山町, 1ex., May 20, 1940, Y.I
42. *Phyllotreta striolata* (FABRICIUS) キスジノミハムシ  
岡山市門田屋敷, 1ex., Jun. 29, 1939, Y.I
43. *Dactylispa subquadrata* (BALY) カタピロトゲハムシ  
岡山市外澤田, 1ex., Jun. 10, 1939, Y.I
44. *Aspidomorpha transparipennis* (MOTSCHULSKY) スキバジンガサハムシ (写真 2)  
岡山市六高, 1ex., Jun. 21, 1939, Y.I
45. *Cassida versicolor* (BOHEMAN) セモンジンガサハムシ  
岡山市神宮寺, 2 exs., May 27, 1939, Y.I

このほかに、伯耆大山産24種（内5種は本リストの種に含まれる）30個体、道後山産2種（内1種は本リストの種に含まれる）2個体の標本がある。

なお、大山産の標本の中には松田滋氏・栗原稔茂氏の採集標本が、道後山産の標本には松田滋氏の採集標本が含まれている。

## おとしふみ

### クロツバメシジミ

### 川上郡川上町での採集記録

河原 宏幸\*・太田 亮二\*\*

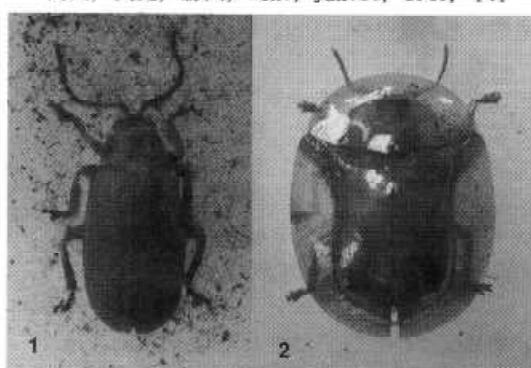
川上郡川上町でクロツバメシジミの幼虫、成虫を確認したので報告する。

川上郡川上町野田, 2 幼虫, 10. IX. 1995, 河原

川上郡川上町折谷, 1 ♂ 1 ♀, 10. IX. 1995, 河原

川上郡川上町折谷, 2 exs., 10. IX. 1995, 太田

野田では、石灰岩の石垣に生えたツメレンゲを食べている若令幼虫（赤紫色）1個体と終令幼虫（緑色）



1個体(写真)を確認した。終令幼虫にはアリが集まっているのが観察された。



折谷では、日当たりのよい石灰岩の石垣付近でニラやダリアに訪花した成虫を採集した。

また、周辺地域の川上町、備中町でクロツバメシジミの生息地を探したが、マンネングサ科植物はあるものの、今回は確認できなかった。

なお、野田、折谷では、1989年に確認記録がある。

#### 参考文献

- 渡辺和夫 (1990) 川上郡川上町のクロツバメシジミ、  
すずむし, 125: 41-42  
\* (〒730 広島市中区河原町7-5-601)  
\*\* (〒719-11都窪郡清音村柿ノ木461-2)

#### セグロバッタの記録

近藤光宏

局地的な分布を示すことが知られているセグロバッタは、岡山県下においても同様の傾向がみられ、生息地である草地等の環境の変化を受けやすい種と考えられる。

岡山県では1958年に岡山市竜ノ口における故赤枝一弘氏による記録が最も古いもので、現在“倉敷昆虫館”に所蔵されており、大変貴重である。

また、1980年には岡山市宝伝において岩水・立川両氏による記録がある。

筆者は、1975年～1991年の間に県南部を中心に13地点(14例)の生息地を確認しているので、上記の記録を含め分布図に示し、文末にそれぞれのデータを記しておく。データ中の採集者の表示のないものは、筆者の記録である。

今後セグロバッタは、良好な草地の後退に伴い減少傾向にある折から、特に1992年以降に記録されていたら、岡山県の中部並びに東部及び西部からの分布情報をお持ちの方は、これを機会に是非ご報告していただ

きたい。そして、本県におけるセグロバッタの分布状況をより正確なものにできたらと願っている。

#### 岡山県のセグロバッタの分布図



#### データ

- セグロバッタ *Eyprepocnemis shirakii* BOLIVAR  
岡山市竜ノ口, 1♂, Oct.11, 1958, 赤枝一弘採集  
総社市湛井, 1♀, Aug.4, 1975  
タ, 1♀, Aug.10, 1975  
都窪郡清音村古地, 2♂ 1♀, Aug.10, 1975  
倉敷市玉島乙島, 1♀, Oct.27, 1975  
倉敷市浅原, 1♂, Oct.17, 1976  
倉敷市福田町松楠谷, 1♀, Sep.11, 1977  
倉敷市粒江種松山, ニンフレックス目撃, Aug.7, 1979  
岡山市久々井, 1♂ 1♀, 他多数個体目撃, Aug.24, 1980  
岡山市宝伝, 3exs., Nov.9, 1980, 岩水採集  
倉敷市玉島円通寺, 1♀, Aug.18, 1983  
玉野市下山坂, 2♂, 他多数個体目撃, Sep.18, 1983  
笠岡市北木島, 1♂, July 30, 1989  
倉敷市児島鴻の池, 1♂, 他多数個体目撃, Aug.12, 1991  
岡山市富吉, 1♂, 他多数個体目撃, Aug.31, 1991  
倉敷市児島由加, 1♂, 他多数個体目撃, Sep.2, 1991  
  
引用文献  
岡山県(1978);岡山県の昆虫, p.102  
近藤光宏(1978);倉敷の自然鶴ヶ辻山系, p.52  
タ (1981); タ 種松山山系, p.56  
山崎柄根(1991);インセクタリウム, Vol.28, p.16  
(〒710 倉敷市中央2-16-14)

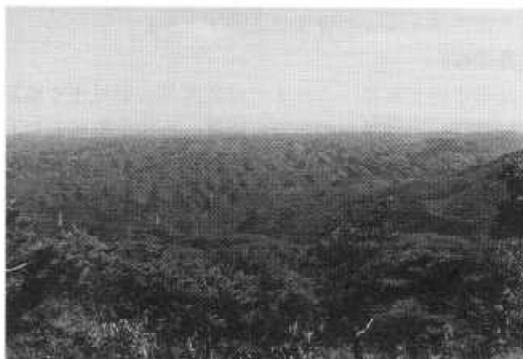
## 吉備高原中部地域のメスアカミドリ分布調査記録

中 村 具 見\*

メスアカミドリシジミは、岡山県においては従来考えられていた中国山地帯だけではなく、広島県境に近い吉備高原の西北部地域を中心に、かなり広範に分布していることが明らかにされているが、吉備高原の中北部地域での分布状況は十分に把握されているとはいえないようだ。1994年から1995年にかけては吉備高原の中北部地域に重点を置いて調査を行ったので、その結果を報告しておきたい。

### 1 吉備高原中部地域の概要

中国山地と瀬戸内沿岸低地帯に挟まれた吉備高原地域は、標高およそ300~600m程度の頂部に平坦面を有する定高性の低山地が、東方へ行くにしたがっていくぶん標高を下げながら続いており、ゆるやかな波浪状の高原とこれを深く刻む渓谷が大きな特徴となっている。



川上郡弥高山から望む吉備高原  
(頂部平坦面がはっきり分る)

中部吉備高原上には、上房郡賀陽町と有漢町との境界にそびえる大平山や久米郡中央町の二上山のように吉備高原地域としては飛び抜けて高い700m近い標高をもつ山々をはじめ、500~650m程度の固い基盤岩からなる残丘とみられる山々が標高400~500mの高原の平坦面上に点在している。また、こうした平坦面は高梁川や旭川とその支流により侵食され、一般に急峻な斜面をもつ深い渓谷を形成している。

植生的には、暖温帯の常緑広葉樹林帶に含まれてお

り、シイ・カシ類が優占する地域なので、例えば、賀陽町大平山や久米郡旭町幻住寺山のように社叢林として自然林が温存された地域では、アカガシを主体とする常緑樹林が一部に残されており、また一般に人手の加わりにくい渓谷斜面等では、アラカシ、シラカシ等の常緑樹が主体の自然度の高い植生を各所にみることができる。しかしながら、高原上の集落や耕作地以外の森林の大部分は、二次植生としてのアカツツミやコナラ、アベマキ、ナラガシワ等が主体の落葉樹林に置き換えており、これらが現在ではこの地域の普遍的な植生となっている。

なお、県下では南限とされるブナやミズナラ、カシワ等の自生している賀陽町大平山のように、冷温帯的な要素が認められる地域もある。

今回は、こうした吉備高原中部地域のなかで、高梁川流域の新見市南部、高梁市、上房郡、真庭郡南部、久米郡の一部にかけての地域において調査を行ったものである。

### 2 分布記録

調査結果を郡・市単位に取りまとめると以下のとおりである。採集地名は、できるだけ大字と字を並記するとともに、カッコ内に採集地点の標高を示した。また、生息環境、分布密度等については、調査時の状況に基づいて記述したものであり、限られた調査における知見であることをお断りしておきたい。採卵はいずれもヤマザクラを主とする各種サクラ類から得たものであるが、正確な種名の同定ができるない場合は記載していない。なお、すべて筆者の記録したものである。

#### 〔新見市〕

新見市南部の高梁川の東側に位置する草間・豊永地区一帯の石灰岩台地上からは、1985年に初めて記録（中村、1994）されて以来、現在まで多くの産地が知られており、この付近の吉備高原面ではかなり普遍的に分布しているものと考えられる。

新見市豊永宇山・先村 (400m), 9卵, Oct.23, 1994

先村は、豊永台ではもっとも南寄りに位置しており、石灰岩の台地上に点在する集落の周辺の、アベマキや

\* 〒719-11 総社市真壁1048

コナツ等からなる乾燥した二次林のヤマザクラから得られたほか、一部は集落内の人家の傍に植栽されたソメイヨシノからも発見できた。後者は本来の生息地とは考えられない場所であり、得られた個体数も少なかった。

#### 〔真庭郡〕

吉備高原と中国山地との境界にあたる真庭郡の南部付近においては、落合町西部の勝山町境付近や、同町南部の加茂川町境に近い山地などで確認することができた。いずれの地域でも個体数は少なく、この付近においては、本種の分布密度は比較的低いように思われた。

なお、既に落合町栗原三飛峠（三宅、1995）から記録されている。

落合町田原山上・鰻田（390-410m），8卵，Nov.20, 1994

加茂川町杉谷から落合町勝田方面に至る県道の峠付近で、主に林縁のヤマザクラを中心に調査して得られたもの。調査地点は尾根筋のやや暗い荒れた雜木林で、採卵に好適なサクラ類は少なかった。

落合町田原山上・北野（370m），1卵，Nov.20, 1994

田原山上から向津矢方面に至る尾根沿いの道べりで1卵のみ得られた。付近の二次林内のやや開けた空間には、本種の好みそうな根際からひこ生えを出したヤマザクラが多く見られ、産卵の場所としては好適な環境と思えたが、意外にも全く発見できなかった。

落合町閑・塩滝（270m），3卵，Dec.3, 1994

蛇紋岩のれき岩が多く露出した特異な地質と植生で知られる塩滝付近では、斜面に付けられた遊歩道の周辺の調査により、わずかに確認することができた。周辺一帯は公園になっていて、ソメイヨシノなどのサクラ類が多数植栽されているが、個体密度は低いようで、本種の産地としては比較的低標高の地域にあたることとあわせて、分布域の周辺部にあたる産地と考えられる。

勝山町月田・神退（510m），16卵，Dec.3, 1994

塩滝から県道を少し北上し、月田へ越える峠から東側の低い山地の頂部あたりを通る林道の北側斜面で、道路法面や林縁に生えているヤマザクラの低木等から得られたもの。

#### 〔久米郡〕

吉備高原の旭川以東の地域は十分な調査を行ったわけではないが、旭町の北部及び同町と隣接する久米町の境界付近で得ることができた。なお、休眠を経て旭町東南部の黒岩高原付近には600m以上の標高を有す

る山地が続いており、もっとも北よりに位置する上口の天子山（646m）山頂等、何か所か調査したが今回全く発見できなかった。近隣には、中央町二上山（689m）のような高い山もあるので、もっと広い範囲を調査する必要があるよう思う。

久米町幻住寺山（460m），11卵，Dec.4, 1994

幻住寺の東側を通って久米町側へ下る道の峠付近の北東側斜面で確認したもの。道べりのサクラ類を探しただけであるが、条件の良さそうな木でもわずか1-2卵見つかれば良い方で、付いていない木が圧倒的に多かった。

旭町北・是定（380m），3卵，Dec.4, 1994

幻住寺へ登る手前の小さな谷の入口付近で、北向きの伐採跡の斜面で伐り株から伸びたヤマザクラのひこ生えや、近くにあるヒノキ林の林縁に点々と自生するヤマザクラ低木等から得た。

旭町北・森上山（490-530m），19卵，Dec.4, 1994

北地区から先谷川に沿って森上山に至る林道沿いを調査したところ、集落を過ぎてしばらく続くやや深い渓谷沿いでは全く発見できなかったが、少し標高を上げて500m付近でようやく卵が発見でき、さらに登って峠付近あたりまで来て、谷筋や林縁のヤマザクラの低木からまとまって得ることができた。

#### 〔高梁市〕

高梁市内からは、これまで北西部の新見市や成羽町に隣接した高梁川の西方に位置する宇治町付近においてのみ記録されていたが、さらに南部よりの松原町や落合町付近をはじめ、高梁川の東側に位置する中井町や川面町にかけての広い範囲においても確認することができた。

高梁市中井町西方・上野（240m），7卵，Nov.19, 1994

高梁川の支流で、新見市豊永宇山から高梁市中井町方面に向けて流れる佐伏川は、石灰岩台地を侵食してかなり深い渓谷を刻んでおり、この渓谷斜面の上部に付けられた県道べりで採卵することができた。吉備高原地域における本種の生息地としては、低標高の産地と言ってよい。

高梁市中井町西方・井戸（330-370m），16卵，Nov.6, 1994

中井町西方・花木から秋葉山北側の井戸谷川の渓谷に沿って巨瀬町方面に越える道を登る途中で、道べりのヤマザクラ低木等から得られたもの。ヤマザクラが多い割に個体数は少なかった。

高梁市川面町友行（460m），31卵，Nov.13, 1994

川面町の東部に広がる秋葉山を中心としたゆるやか

な山地のうち、西よりの友行付近で稜線部を通る林道周辺一帯で得られたもので、川面から登る途中の高尾田付近の渓谷では全く発見できなかった。

高梁市宇治町宇治・柴原 (420-450m), 11卵, Dec.18, 1994

宇治町では既に大池山や笛尾方面で得られているが、さらに南部の柴原地区でも確認することができた。林道に沿ってかなり広い範囲を調査して得られたもので、生息密度はかなり低いように思われた。

高梁市松原町大津寄西 (340-380m), 27卵, Dec.18, 1994

高梁市松原町春木・後春木 (440m), 4卵, Dec.18, 1994

高梁市松原町松岡・中筋 (470m), 12卵, Dec.18, 1994

高梁市松原町松岡・陣山 (510m), 4卵, Dec.18, 1994

高梁市の西部に位置し、成羽町と接する松原町付近では、成羽町下原から松原町春木方面へ至る急斜面を登っていく途中、まず大津寄西付近の道べりや沢筋などで、林縁に自生しているサクラ類を調べたところ、狭い範囲で比較的多く得ることができ、この付近においては結構密度の高いように思われた。

また、渓谷を登りきった吉備高原面上にあたる春木から松岡にかけての道路沿いなどでも数か所で確認することができた。

高梁市落合町原田・川乱西 (430-440m), 32卵, Dec.25, 1994

高梁市落合町原田・川乱東 (430m), 19卵, Dec.25, 1994

落合町では、南部の原田付近でやはり尾根沿いの林道周辺を調査して、林縁等を中心に各所で採卵することができた。ただし、この付近では適当なサクラ類があっても全く卵の発見できない木も少なくなかったことから、それほど分布密度が高いとはいえないようである。

なお、川乱の南西に位置する新城池付近でも、生活環境保全林として圃地整備が行われている池の周囲の遊歩道を中心調査を行ったが、斜面一体に植栽されたソメイヨシノを含めてサクラ類が多いにもかかわらず全く発見できなかった。

#### 〔上房郡〕

上房郡では、既に賀陽町神子山（三宅, 1994）をはじめ、北房町上水田・野々倉や有漢町上有漢川関上（ともに三宅, 1995）の3か所で記録されており、この付近でも吉備高原の台地面や稜線部を中心に広く分

布していることが明らかになった。

北房町上中津井・多和山峠 (320m), 8卵, Nov.23, 1994

国道313号線の新しい北房トンネルができる、今はほとんど車も通らなくなった旧道に沿って、上中津井側から曲がりくねった道を登りながら調査した。

登りはじめしばらくは、道べりに適当なヤマザクラの低木があちこちにあるのに卵は全く見当たらず、多和山峠の手前あたりまで登ってようやく発見することができた。この一帯では、峠付近が本種の垂直分布の下限になっているものと思われる。

北房町上皆部・高鶴部 (330-350m), 70卵, Dec.30, 1994

上皆部から弥谷川に沿って阿口方面に登る途中の、比較的急峻な斜面に常緑樹を交えた樹林が鬱蒼と茂った渓谷沿いを調査したところ、道べりに生えたヤマザクラのひこ生えや溪流に向かって張り出した横枝などから多数採卵することができた。

北房町阿口・杉 (500m), 5卵, Dec.30, 1994

高原上の日当たりのよい緩斜面で、林縁のサクラ類から得られた。本種の生息環境としてはあまり良好とはいえない場所であった。

北房町上水田・井殿 (390-400m), 20卵, Jan.3, 1995

有漢町との境界に近い林道周辺の調査により、少ないながら得られた。阿口付近と同様、吉備高原上の平坦な場所であり、本種の生息環境としてはあまり好適な場所とはいえないようである。

賀陽町豊野・持信・天福寺 (560m), 6卵, Oct.30, 1994

賀陽町豊野・大平山山頂付近 (660-690m), 36卵, Oct.30, 1994

賀陽町北部の大平山の中腹にある天福寺から山頂に至る林道沿いを調査した。

まず、天福寺付近で植栽されたソメイヨシノや道路べりのサクラ類から若干の卵を得たのち、山頂に向けて登りながら調査を行ったが、アカガシなどの常緑樹をはじめよく繁茂したやや薄暗い樹林内にはサクラ類が非常に少なく、したがって途中ではほとんど得られなかった。

林道をほぼ登り切って、大平山の山頂から無線中継所に至る間の尾根伝いの道べり等で、ある程度まとまった数を採卵することができた。

賀陽町竹莊・神子山 (490-510m), 79卵, Nov.3, 1994

賀陽町竹莊・神子山 (550-580m), 35卵, Dec.30,

1994

西側斜面に付けられた林道の周辺一帯及び山頂付近にかけて2回に分けて調査したところ、林縁やトンネル状になった樹林内のサクラ類から多数の卵を確認することができて、この付近ではかなり生息密度が高いように思われた。

賀陽町竹莊・聖坊山 (510-550m), 10卵, Dec.23,

1994

聖坊山は、神子山から南西方面に続く山系のすぐ南に位置する山で、標高がほとんど変わらない神子山に比べると非常に少なく、俵原から上る途中の林道沿いでは全く発見できず、山頂付近でわずかに得られたのみであった。

有漢町上有漢・黒岩長代池 (320m), 13卵, Nov.13, 1994

長代池の周囲に付けられた遊歩道沿いの、主として斜面上部の雑木林中にあるサクラ類の低木から得られた。なお、遊歩道に沿って一列に植栽されているソメイヨシノは全体に日当たりが良すぎるせいか、いくつか寄生卵を見出しだけであった。

有漢町上有漢・井土 (390m), 3令幼虫 2exs., May 5, 1995

川閨から飯の山方面へ登る途中の林道べりで、山裾の渓流に被いかぶさるように生えたサクラ類の枝先に近い葉裏にいた幼虫を採集した。

有漢町有漢 (510m), 21卵, Nov.13, 1994

有漢町東南部の賀陽町との境界をなす山地のうち、県道の峠の手前、有漢町側から北東方面へ、山腹を縫うように付けられた林道に沿って調査したところ、林道の終点近くの賀陽町との境界付近にあたる尾根の鞍部の手前付近において、林縁にあるヤマザクラから集中的に採卵することができた。この付近を含めて神子山から大平山に至る山塊では、尾根筋を中心にはほぼ連続的に分布しているようである。

有漢町有漢・安元 (430-450m), 9卵, Nov.20, 1994

有漢から広域農道を経由し、途中から分岐して大平山へ至る道へ入ってすぐの渓谷付近一帯で採卵したもの。道路べりのヤマザクラ大木の根際から生えたひこ生えや林縁の低木などで得られた。

#### [御津郡]

御津郡では、加茂川町北西部の落合町、有漢町、賀陽町との境界に近い地域で、いくつかの産地を確認することができた。なお、加茂川町溝辺及び笹目では既に三宅(1995)により報告されている。

加茂川町溝辺 (340-360m), 51卵, Nov.20, 1994;

3令幼虫 9exs., May 5, 1995; 2♂, June 24, 1995

落合町との境界に近い恩木ダム上流の渓谷を経て、三飛峠へ登る林道沿いの各所で確認することができたもので、個体数は比較的多かった。また、1995年6月24日に訪れた際には少し曇りがちの天候であったが、渓谷の林道沿いや小さな沢筋等で、喬木の枝先を占有飛翔する個体が少數ながら認められた。

加茂川町笹目 (400m), 3卵, Nov.20, 1994

福沢から笹目へ越える峠付近の、主として林道の周辺を調査したものだが、調べた木の数に比べて得られた数は少なく、この付近では非常に少ないようと思われた。

加茂川町尾原・畠山 (510m), 13卵, Nov.12, 1994

賀陽町との境界に近い畠山付近で、建設中の有漢町方面に至る広域農道の周辺で、道沿いのアカマツ林内にあるヤマザクラ等での調査により、少ないながら得られた。

加茂川町和田・和田上 (460m), 1卵, Oct.30, 1994

加茂川町尾原・千守から和田方面に至る道の小さな峠付近で、道べりの伐採跡に再生した雑木林の中にいるサクラ類から1卵のみ得られた。これより和田地区の集落近辺まで山腹の道沿い等を何か所か調査したが、全く発見できなかった。

### 3 調査結果の概要

分布調査結果から、吉備高原地域では西部だけでなく、中部においても中国山地に近い地域に限られるものの各所で確認することができて、その分布が予想外に広がっていることが明らかになった。

そこで、今回の調査結果をもとに、中部地域における本種の分布等の概略について、簡単に取りまとめて今後の調査の参考としたい。

まず、吉備高原中部地域における大まかな分布であるが、高梁市西部の成羽川以北においては、既に記録されている宇治町だけでなく、松原町から落合町にかけての高原地帯で点々と得ることができ、また、高梁川を越えて東側の中井町付近でも確認することができたが、これらは哲多町や新見市南部から連続する分布域の一部とみなすことができるよう思う。次に、高梁市の東に位置する賀陽町では、北部の有漢町に近い聖坊山から神子山、大平山に至る山塊で、ほぼ連続的に産地が認められるとともに、これより北部に位置する有漢町や北房町の山地でも各所で発見されている。また、賀陽町の北東にあたる加茂川町北部から落合町

南部の山地でも点々と産地を発見することができ、さらに旭川を越えて、旭町北部から久米町境付近の山地においてもいくつか産地を確認することができた。

これらの産地群の南限は、高梁市西部の成羽川付近から賀陽町北部を通り、加茂川町の北西部を経て、旭町の北部に延びており、ほぼ南西から北東方向に至るラインを示している。このラインは、吉備高原西部から続く南限ラインの傾向を、そのまま引き継いでいるものとみられる。したがって、現状ではこのラインよりも北側の地域が本種の分布域と考えられる。

次に、この地域における垂直的な分布をみると、吉備高原の地形的特徴を反映して、高原面やその上に生じた山塊を中心に、高原を侵食する深い渓谷の斜面上部あたりで生息地が確認されており、分布域に含まれる地域であっても渓谷底部にあたる盆地部とその周辺では得られていない。このことは吉備高原中部地域でもっとも標高の高い賀陽町大平山ですら700mに満たず、中国山地に比べると相対的に標高が低いことから、基本的に冷温帶性の種とされている本種にとって、生息可能なゾーンが必然的に上部の標高の高い地域に限定されてくるものと考えられる。したがって、上記の分布域のなかでも普遍的に生息しているのではなくて、やや高所に限定されているようである。

そこで、今回確認できた生息地の標高をみると、高

梁市中井町西方上野（240m）や落合町閑・塩滝（270m）等がもっとも低い産地であり、大体このあたりが垂直分布の下限となっているようで、これより上部の賀陽町大平山の山頂（697m）付近までが垂直的な分布域となっている。今回の産地は大体400～550m付近に集中しており、これは吉備高原の高原面付近にはほぼ一致している。

また、植生との関連で生息環境をみると、この地域の現況はアカマツ林又は、アベマキ、コナラ、ナラガシワ等の落葉ケルクス主体の二次林が大半を占めており、乾燥気味の気候条件等も影響しているせいか、スギ、ヒノキ等の造林地は中国山地に比べると相対的に少ない。こうした中で、サクラ類は幅広い環境に適応して、各所にごく普通に自生しており、したがって本種も特定の植生との結びつきは認め難く、生息環境が幅広い植生に及んでいることは前報（中村、1995）で記したとおりである。

このように、吉備高原地域のアカマツ林やアベマキ、コナラ、ナラガシワ等の二次林とその周辺では一般にサクラ類がよく繁茂しており、今回の調査においても、尾根筋や台地面ではアカマツ林やその周辺が主たる生息地となっており、中国山地における冷温帶のブナ・ミズナラ林とは、植生からみてもかなり異なった生息環境にあることは興味深い。



最後に、吉備高原地域における新たな分布資料の蓄積を期待するとともに、現在全く記録されていないと思われる吉備高原東部地域についても、今後の分布調査の進展を期待したい。

## 参考文献

- 福田晴夫ほか (1984) 原色日本蝶類生態図鑑 (III)  
シジミチョウ編, 保育社, 大阪  
中村具見 (1984) 吉備高原地域西北部のメスアカミ  
ドリシジミ, すずむし (119) : 10-11

- 三宅誠治 (1993) 成羽川以南でメスアカミドリシジ  
ミを記録, みちしるべ (16) : 90  
三宅誠治 (1994) 岡山県南西部のメスアカミドリシ  
ジミ, みちしるべ (17) : 95-97  
中村具見 (1994) 吉備高原地域西北部のメスアカミ  
ドリシジミ (続報), すずむし (128) : 21-24  
三宅誠治 (1995) 岡山県中部でメスアカミドリシジ  
ミを採集, みちしるべ (20) : 141-142

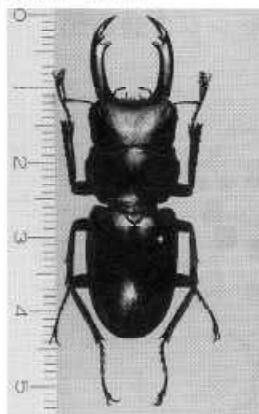
## おとしふみ

アカアシクワガタの  
岡山県における南限記録

松本 杵樹郎

アカアシクワガタ *Dorcus rubrofemoratus*  
(VOLLENHOVEN) は山地性のクワガタムシで、これまでの岡山県内の南限記録は羽鳥 (1987) の神郷町三室の記録であると思われる。また、1994年7月10日に1♂が新見市豊永赤馬で得られている (奥島, 私信)。筆者は、さらに南の高梁市で本種を探集したので報告する。

1♂, 高梁市臥牛山, 18. II. 1994, 筆者採集,  
翌年羽化, 筆者保管 (写真)



直径50cmほどの倒木中より採集した2幼虫のうちの  
1頭。もう1頭は飼育途中で死亡。

末筆ながら、県内の本種の分布についてご教示いた  
だいた青野孝昭氏、記録の発表を快く許された奥島雄  
一氏にお礼を申し上げる。

## 引用文献

- 羽鳥祐之, 1987. 阿新地域に産する鞘翅目昆虫, す  
ずむし, (122) : 1-17.

(〒812 福岡市東区箱崎2-15-8)

市街地で得られた *Catocala* 2種

渡辺 和夫

岡山市街地の中心部で次のとおり *Catocala* を採集し  
ているので、報告しておく。

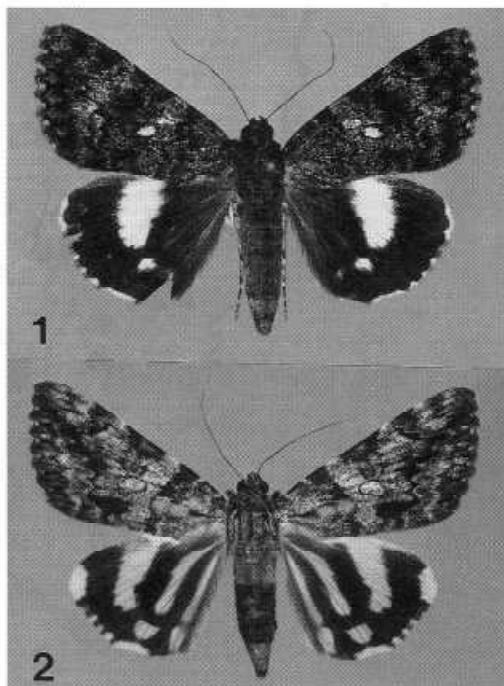
1. *Catocala actaea* FELDER & ROGENHOFER

コシロシタバ [写真1]

Ix., 岡山市大供一丁目, 8. IX. 1994

市庁舎の北側廊下天井に朝10時頃静止していた。

本種は、クヌギを混じえた暖温帯の落葉二次林の  
蛾とされているが、筆者の知る限り、最も近いと思  
われるそういう環境は岡山市東山周辺で、直線距離  
で約2km離れている。

2. *C. hyperconnexa* SUGI アミメキシタバ [写真2]

lex., 岡山市大供一丁目, 6. Ⅷ. 1986

市庁舎北側室内の壁に静止していた。

本種は、常緑カシ林の蛾とされており、岡山市においてもアラカシ4例とアベマキ1例から幼虫が発見されているが、付近には常緑カシ林と呼べる環境ではなく、アラカシを混じえた樹林も前種で触れたとおり岡山市東山周辺まで約2km離れている。なお、アラカシは庭木として比較的ポピュラーなものなので、こうしたところで発生している可能性も否定できないと思われる。

両方の記録とも市庁舎で得たものだが、日中はほとんど窓の開閉を行わないので、恐らく前夜、灯火にひかれて迷入したものであろう。

#### 参考文献

- 岡山昆虫談話会編(1985) 岡山県の*Catocala*属(下), 昆虫と自然, 20(4):21-22  
 井上寛ほか(1982) 日本産蛾類大図鑑, 講談社, 東京  
 (〒719-11 総社市三輪203)

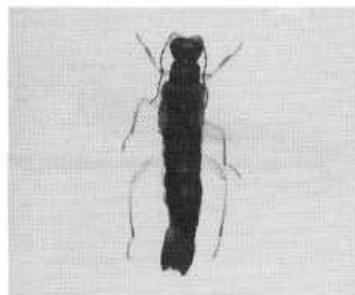
#### オオメコバネジョウカイの 岡山県からの記録

奥島 雄一

オオメコバネジョウカイ *Microichthyurus pennatus* (LEWIS) は本州、四国に産するが、まれなジョウカイボン科甲虫である。岡山、広島両県下においても今坂・山地・渡辺(1990), 今坂・中村(1993, 1994, 1995, 1996)によってこの科の総合的なまとめが行われているにもかかわらず、本種の記録は見当たらない。

筆者は好運にも岡山県新見市において採集された本種を検する機会を与えられたので、報告しておく。

2♀, 新見市草間, 27. VI. 1996, 矢部ゆり採集, 倉敷市立自然史博物館保管



末筆ではあるが、貴重な標本を提供してくださった倉敷市の矢部ゆり氏に厚くお礼申し上げる。

#### 引用文献

- 今坂正一・中村慎吾, 1993. 広島県のジョウカイボン

相(予報). 比和科学博物館研究報告, (31): 43-65, pl.I-IV.

今坂正一・中村慎吾, 1994. 広島県のジョウカイボン相(第2報). 比和科学博物館研究報告, (32): 19-24.

今坂正一・中村慎吾, 1995. 広島県のジョウカイボン相(第3報). 比和科学博物館研究報告, (33): 65-68.

今坂正一・中村慎吾, 1996. 広島県のジョウカイボン相(第4報). 比和科学博物館研究報告, (34): 123-128.

今坂正一・山地治・渡辺昭彦, 1990. 岡山県のジョウカイボン相. すずむし, (125): 1-23.  
 (〒710 倉敷市中央2-6-1, 倉敷市立自然史博物館)

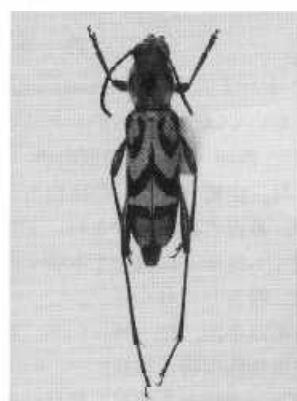
#### キンケトラカミキリの記録

奥島 雄一

岡山県下でのキンケトラカミキリ *Clytus auripilis* BATES の記録は脇本(1965), 青野・宇野・重井・脇本(1970)の2例しか知られておらず、これらの産地はいずれも高梁市である。

筆者は新見市において本種を採集しているので、報告しておく。

5exs., 新見市剣森山, 7. X. 1995, 筆者採集(材), II. 1996, 羽脱, 倉敷市立自然史博物館保管



落ちていたケヤキの枯れ枝(直径2~3cm)を持ち帰り、室内で保管しておいたところ、2月に羽脱しているのが見つかった。

末筆ではあるが、過去の記録についてご教示いただいた倉敷市の青野孝昭氏と岡山市の山地治氏に厚くお礼申し上げる。

#### 引用文献

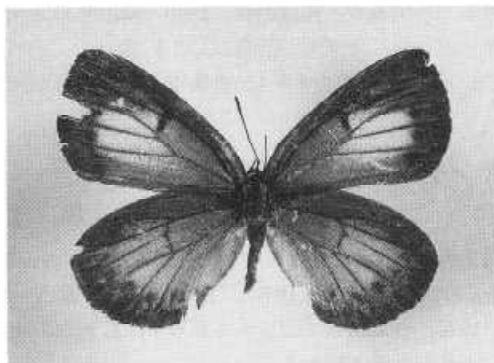
- 青野孝昭・宇野弘之・重井博・脇本浩, 1970. 岡山県

のカミキリムシ、すずむし、(105) : 1-42.  
脇本浩、1965. カミキリムシ、すずむし、15 (2) :  
9-10.  
(〒710 倉敷市中央2-6-1, 倉敷市立自然史博物館)

### ウラゴマダラシジミを総社市で採集

土 煙 重 人

下記のとおりウラゴマダラシジミを採集しているので、報告しておく。  
1♀、総社市奥坂、16. VI. 1996、筆者採集・保管



砂川河川公園～新山部落間の路上で得た。  
(〒711 倉敷市児島通生236-3)

### キヨウトアオハナムグリの採集記録

奥 島 雄 一

キヨウトアオハナムグリ *Protaetia lenzi* (HAROLD)  
は岡山県下においては珍品のハナムグリで、その記録  
は山根 (1941)、西田 (1941) の岡山市、竹内 (1959,  
1962) の久米町、山地 (1986) の岡山市と英田町が知  
られているが、最近の記録は少ない。

筆者は好運にも高梁市において本種を採集することができたので、報告しておく。

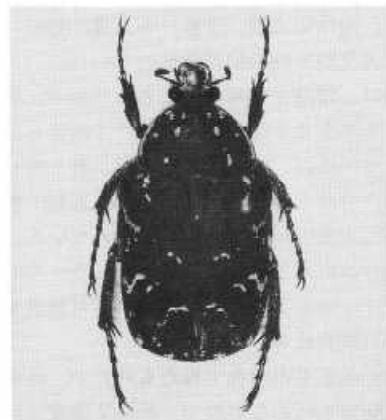
1♂、高梁市臥牛山、12. VI. 1996、筆者採集、倉  
敷市立自然史博物館保管 (写真)

樹木のこずえを飛翔する個体を発見、長竿ですくって  
みたところ本種であった。

末筆ではあるが、今回の発表についてお世話になっ  
た岡山市の山地治氏に厚くお礼申し上げる。

### 引用文献

- 西田公一、1941. 岡山市近郊採集地案内、岡山一中科院  
學部會報、(6) : 45-52.  
竹内幸夫、1959. 美作産ゾウムシ類について、美作の  
自然 (5) : 29-31.



竹内幸夫、1962. 美作地方のコガネムシ類目録、す  
ずむし、12 (4) : 1-2.  
山地治、1986. 岡山県より採集した甲虫類の記録、す  
ずむし、(121) : 13-19.  
山根知之、1941. 岡山附近の珍昆蟲 I、岡山一中科院  
學部會報、(6) : 7-14.  
(〒710 倉敷市中央2-6-1, 倉敷市立自然史博物館)

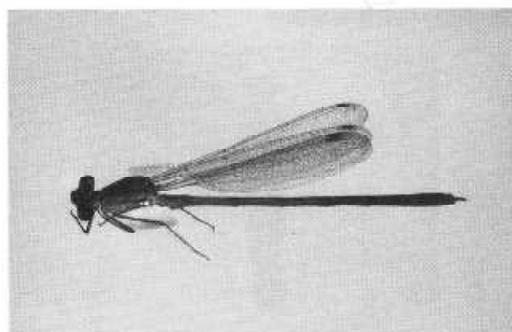
### オツネントンボの記録

奥 島 雄 一

オツネントンボ *Sympetrum paedisca paedisca*  
(Eversmann) は成虫で越冬することが知られている  
アオイトトンボ科のトンボで、岡山県下での記録は少  
ない。

筆者は熊山町熊山において本種を採集しているので、  
報告しておく。なお、これまでに熊山付近での本種の  
記録はないようである。

1♂、赤磐郡熊山町熊山、31. III. 1996、筆者採集、  
倉敷市立自然史博物館保管 (写真)



末筆ではあるが、今回の発表についてお世話になっ  
た倉敷市立琴浦中学校の守安敦氏に厚くお礼申し上げ  
る。

(〒710 倉敷市中央2-6-1, 倉敷市立自然史博物館)

## 岡山県から採集した甲虫類の記録

山 地 治\*

岡山県下から採集した甲虫類のうち、記録の少ないと思われる若干の種について報告する。

貴重な採集品を提供下さった野嶋宏一氏・難波通孝氏・福田元信氏・渡辺昭彦氏・渡辺和夫氏に感謝申し上げる。また、上野輝久氏・笠原須磨夫氏・佐藤正孝博士には同定の便宜を計って頂き、奥島雄一氏には同定依頼の仲介をお願いした。ここにお礼申し上げる。

なお筆者の同定した種については、学名・和名は原色日本甲虫図鑑II～IVに従った。

筆者等頻繁に出てくる採集者名は福田元信=F、野嶋宏一=N、山地治=Y、渡辺昭彦=A、渡辺和夫=Kと略記した。一部の種に対しては写真を添付したが、その番号は学名の前の番号に対応している。

1. *Carabus maiyasanus maiyasanus* BATES

マヤサンオサムシ

勝北町奥津川, 1♂, 5. V. 1982, F

タ, 1♂, 13. IV. 1996, Y

福田氏の採集個体は県下での確実な標本としては最初のものであった。奥津川は上斎原村辰巳峠、東粟倉村後山に次ぐ県内で3番目の産地となった。

2. *Bembidion thermoides* NAKANE

ヒメモンナガミズギワゴミムシ

西粟倉村若杉峠, 2exs., 4. VI. 1994, Y, 笠原氏同定

勝北町奥津川, many exs., 27. VIII. 1995, Y, F

若杉峠では倒木の根ぎわの草の生えていない土のところで採集した。奥津川ではガケの斜面を掘ることで他のゴミムシと共に多数採集できた。

3. *Bembidion umeyai* HABU

ウメヤルリミズギワゴミムシ

西粟倉村若杉峠, 2exs., 25. VI. 1989, Y, 笠原氏同定

北海道で記載された種で、笠原氏によれば四国・九州まで分布するようである。西日本での記録は少ない。

4. *Chlaenius praefectus* BATES アオヘリアオゴミムシ

\* 〒701-12 岡山市芳賀5116-11

津山市綾部(加茂川河原), 1♀, 21. IV. 1996,

F

5. *Enochus uniformis* (SHARP) ウスグロヒラタガムシ  
中和村初和, 3exs., 18. V. 1991, Y, 佐藤博士同定

記録の少ない種だそうである。

6. *Paracymus evanescens* SHARP チビマルガムシ  
邑久町錦海塩田跡地, 2exs., 29. IV. 1995, Y, 佐藤博士同定

タ, 8exs., 28. IV. 1996, Y

汽水域の水際で藻の下等で採集した。主に琉球以南に分布する種で、九州から亜種が記載されているが、佐藤博士によると区別する必要はないとのことである。本州からの記録は初めてかもしれない。

7. *Hister congener* SCHMIDT イブシエンマムシ  
上斎原村恩原, 1ex., 16. V. 1993, 難波通孝氏採集

8. *Bledius salsus* MIYATAKE オオツノハネカクシ  
邑久町錦海塩田跡地, 1ex., 20. V. 1995, N  
タ, 5exs., 3. V. 1996, Y

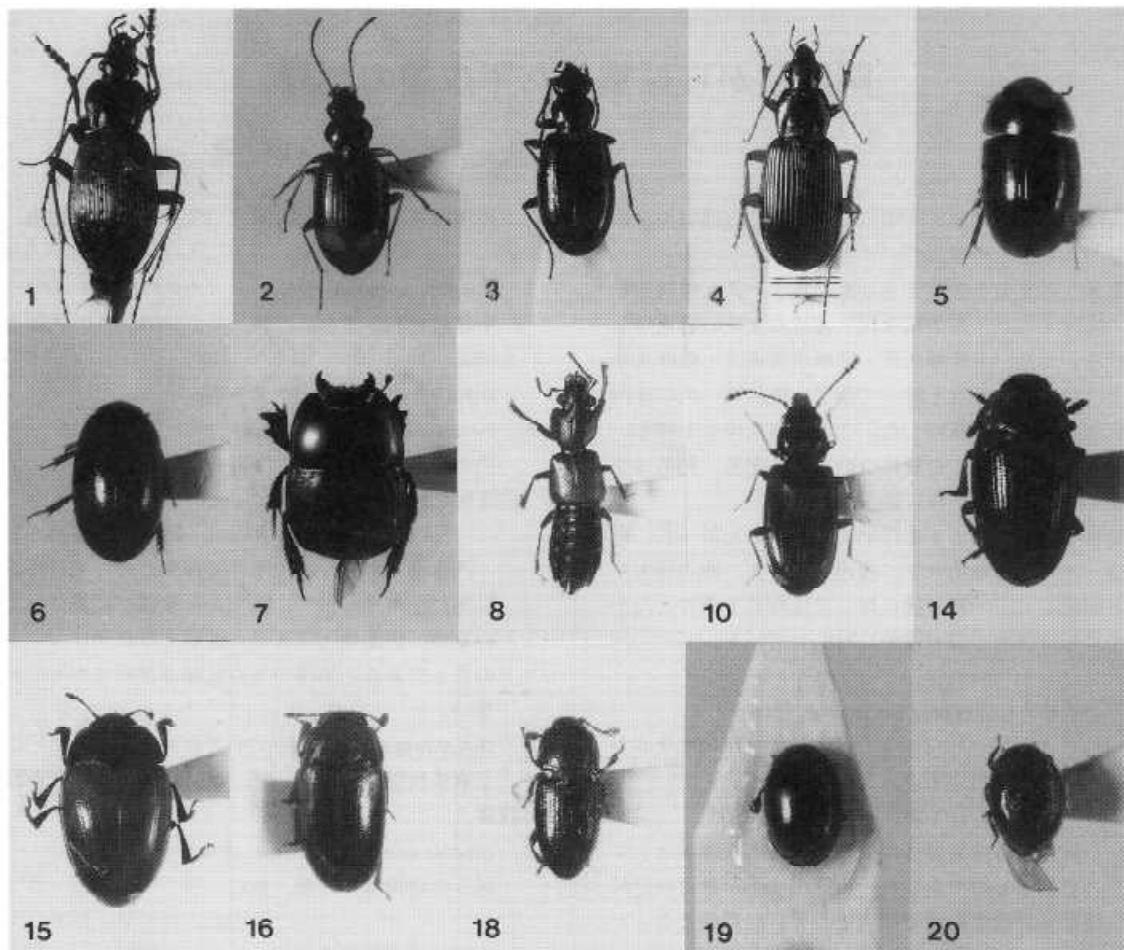
湿地の地面を歩いているものを採集した。塩田の害虫として知られていて、岡山県でも古い記録があるが近年の記録はない。

9. *Toxoscelus matobai* TOYAMA ホソクリタマムシ  
上斎原村赤和瀬, 1ex., 31. VII. 1994, Y  
和歌山県と岡山県の標本で記載された種であるが、赤和瀬は岡山県下で3番目の産地となる。伐採跡の林縁のブナなどの葉をスイープして採集した。

10. *Notolaemus cibratus* (REITTER)  
モンチビヒラタムシ  
西粟倉村若杉, 1ex., 15. V. 1993, K, ピーティング, 上野氏同定

11. *Nipponophloeus dorcoides* (REITTER)  
オオキバチビヒラタムシ  
落合町佐引, 1ex., 4. V. 1989, Y, 上野氏同定

加茂川町宇甘溪, 1ex., 11. VI. 1989, Y, 上野氏同定

12. *Silvanus bidentatus* (FABRICIUS)

フタゲホソヒラタムシ

奈義町瀧山, 1ex., 16. V. 1987, Y, 上野氏同定

中和村山乘山, 1ex., 9-10. VIII. 1986, K, 灯火, 上野氏同定

13. *Silvanoprus scuticollis* (WALKER)

ミツカドコナヒラタムシ

川上町磐窟溪, 1ex., 12. X. 1985, K, 灯火  
吉井町光木, 1ex., 29. VIII. 1992, K, 灯火  
どちらも上野氏同定。14. *Triplax discicollis* LEWIS セモンチビオオキノコ

加茂町倉見, 3 exs., 23. X. 1988, A

西栗倉村若杉峠, 10exs., 23. IX. 1990, A

県内の具体的な記録が見当たらないので報告しておこう。

15. *Tritoma rufipennis* (LEWIS)

ベニバネチビオオキノコ

神郷町三室, 4 exs., 3. V. 1994, A

16. *Dacne akitai* NARUKAWA ウスモンホソオオキノコ  
玉野市筈割, 1ex., 31. VII. 1995, N, 灯火  
岡山市足守上土田, 1ex., 24. VIII. 1995, N, 灯火

三重県から1992年に記載された種で全国的な記録はまだ少ない。

17. *Philothermopsis crassipes* (SHARP)

アシブトカクホソカタムシ

西栗倉村若杉, 2 exs., IX. 1990, A, 上野氏同定

18. *Philothermus pubens* (SHARP)

アメイロカクホソカタムシ

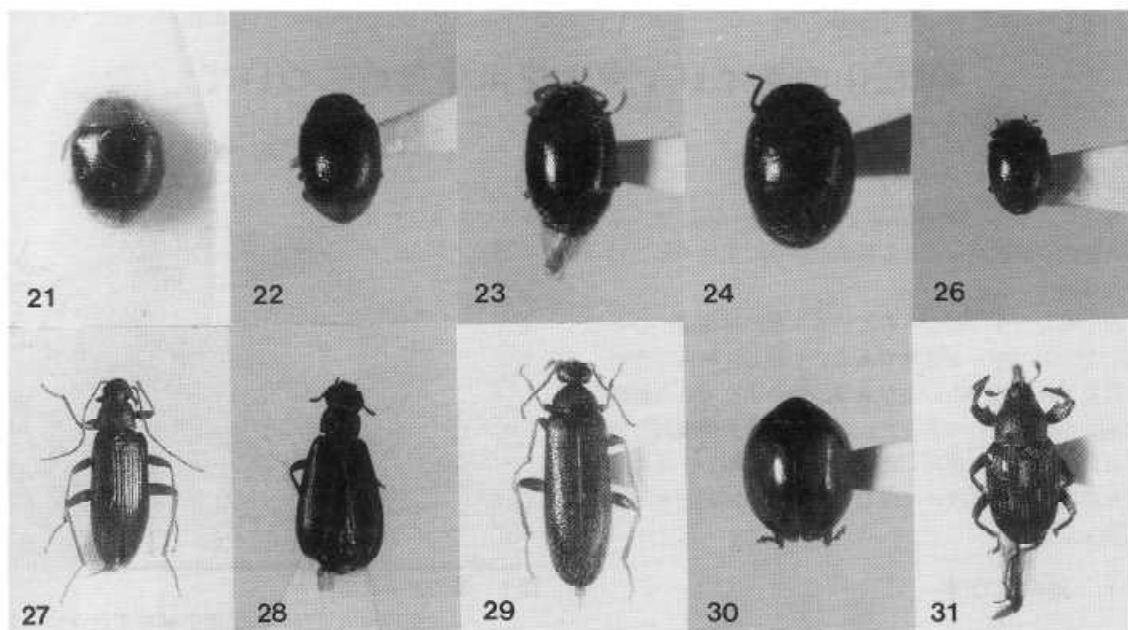
高梁市臥牛山, 1ex., 9. V. 1990, Y

高梁市檜井, 1ex., 29. IV. 1991, N

いずれも上野氏同定。

19. *Nephus yotumon* (H. KAMIYA)

ヨツモンヒメテントウ



津山市山北, 2 exs., 1. III. 1994, F  
ケヤキの剥がれかかった皮のすきまで越冬しているものを採集したようである。

20. *Scymnus vencoxus* H. KAMIYA セダカヒメテントウ  
川上町穴門山神社, 1ex., 4. VII. 1993, K  
備中町西油野, 1ex., 6. V. 1990, A  
いずれも上野氏同定。

21. *S. rectus* (OHTA) オオタツマアカヒメテントウ  
津山市鶴山公園, 1ex., 7. III. 1994, F, 上野氏同定

22. *S. ruficeps* (OHTA) ナガヒメテントウ  
落合町杉山, 2exs., 5. VIII. 1991, N, 上野氏同定

23. *S. chuijoi* SASAJI チュウジョウヒメテントウ  
岡山市桑野(百間川河口), 1ex., 10. IX. 1989,  
A, 上野氏同定  
アシのスイーピングによる。

24. *S. takabayashii* (OHTA) タカバヤシヒメテントウ  
加茂町倉見, 1ex., 21. VII. 1990, N, 上野氏同定

25. *S. babai* SASAJI ババヒメテントウ  
岡山市桑野(百間川河口), 1ex., 10. IX. 1989,  
Y, 上野氏同定  
倉敷市に記録がある。河口のアシをスイーピングして採集した。

26. *S. otohime* H. KAMIYA オトヒメテントウ  
落合町佐引, 1ex., 4. V. 1989, Y, 上野氏同定

27. *Allecula tenuis* MARSEUL ホソアカクチムシ  
加茂町倉見, 1ex., 1. VII. 1989, A, 灯火, 上野氏同定

28. *Omineus humeralis* LEWIS  
カタアカジョウカイモドキ  
上齋原村三ヶ上, 1ex., 28. V. 1989, Y, 上野氏同定

県下では備中町で記録があるが、三ヶ上の個体は肩が赤くなく、全体黒色の個体である。

29. *Scaptia livens* MARSEUL キイロハナノミダマシ  
川上町穴門山神社, 1ex., 12. VI. 1993, K,  
ビーティング, 上野氏同定  
西栗倉村若杉峰, 1ex., 19. VI. 1988, A  
矢掛町, 1ex., 25. VII. 1991, N

30. *Argopistes biplagiatus* MOTSCHULSKY  
テントウノミハムシ  
邑久町錦海塩田跡地, 1ex., 28. IV. 1996, Y  
水面に浮いていた個体を採集した。

31. *Ellatocerus japonicus* MORIMOTO  
ヤマトヒメクモゾウムシ  
西栗倉村若杉, 1ex., 9-10. VII. 1994, K  
灯火採集による。

## 種松山のキイロヤマトンボ生息地について

守 安 敦\*

キイロヤマトンボ *Macromia daimoji* OKUMURA は、主に丘陵地や低山地を流れる清流の周辺に生息することが知られている。

岡山県で今まで報告されている本種の産地は、ほとんどが河川の中・下流域である。しかし、県内で初めて発見された種松山の生息地は、池の中にできた幅約2mの小さな流れであった。この生息地の環境については、以前簡単に報告したが(守安, 1994a), その特異な環境をここに改めて詳しく報告し、記録にとどめておきたい。

### 1 池のようす

この池は、上流にある大きな池からの流れが注ぎ込んでおり(図1), 上流にある池では、岡山県では初めて見つかった水草も生えているなど、水質も非常に良い。

本種の幼虫を見つけた1992年8月当時、池の東側は主に泥が堆積してガマが生えており、西側は細かい砂地であった。また、周囲にある砂が池の中に流れ込んで、池の縁に沿って砂地の部分ができていた。この年にはエビモが砂の中から生えてきたことや、泥との境目あたりの砂は泥の上に堆積していることから、前年の1991年に雨で上流から運ばれた細かい砂が池の西側にあった泥の上を広くおおったのではないかと思われる。当時、この池に流れ込む小溪流は、水量は多くないものの一年中水が絶えることなく安定していた。

翌1993年にも中央部が砂で少し陸化したぐらいで、この状態がほぼ保たれていた(図2, 写真1)。しかし、同年6月から8月にかけての例年ない大雨で、池はほとんど粒の荒い砂に埋まり(写真2), 翌1994年8月11日には、集水域のはとんどの雑木林が山火事で消失したうえに、異常渴水で、池は完全に干上がってしまった。

その後も雨が降ったとき以外は水がない状態が続いていたが、1995年12月23日に訪れてみると、池の砂がすくい上げられ、全体に水深約80cmに掘り下げられていた。1996年6月には、水底のはと半分にエビモが生え、流れ込む水量も多くなって、以前の状態に戻って

きているように見えた。

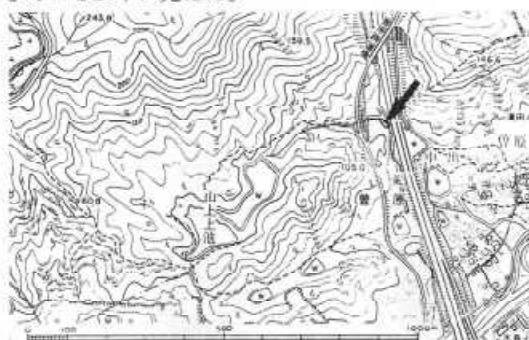


図1 池のある位置

(倉敷市役所発行岡山県南広域都市計画図(倉敷)某16)

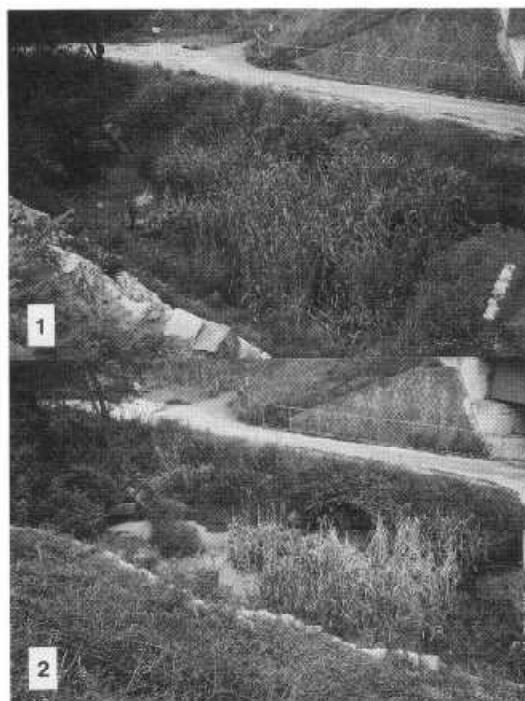


写真1 (1993年6月6日)

写真2 (1993年8月28日)

### 2 池で見られたトンボ

この池は、流れのあるところと、ほとんど流れがな

\* 〒710 倉敷市浦田2430

く、泥のたまっているところがあることや、水質が極めて良いことから、止水性の種と流水性の多くの種を確認できた。本種以外にこの池でみられた種は、キイトンボ、アオモンイトンボ、モノサシトンボ、オツネントンボ、ホソミオツネントンボ、ハグロトンボ、ニシカワトンボ、オジロサナエ、キイロサナエ、ヤマサナエ、コオニヤンマ、オニヤンマ、コシボソヤンマ、マルタンヤンマ、ギンヤンマ、クロスジギンヤンマ、ハネビロエゾトンボ、コヤマトンボ、ショウジョウトンボ、シオカラトンボ、オオシオカラトンボ、ナツアカネ、マユタテアカネであった。

### 3 キイロヤマトンボの幼虫について

1992年8月11日にこの池を訪れたとき、初めて本種幼虫の脱皮殻を水底の砂の上で見つけ（図2の○印）、次の日ほぼ同じ場所で幼虫を確認した。1993年6月6日の調べでは、確認できた6匹の幼虫はすべて終齢で、採集した個体以外は図2の●印のあたりにいた。6月12日の調査では、羽化寸前の幼虫を1個体確認ただけであった。他の4個体はこの間に羽化したものと思われる。

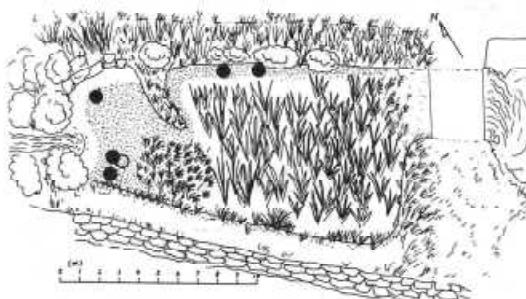


図2 池のようす (1993年6月6日)

### おどしふみ

#### フジミドリシジミの遅い記録

松 本 吏樹郎

筆者は1995年8月29日に西粟倉村を訪れた際フジミドリシジミを得たが、これは本種の発生時期からすると遅い記録だと思われるので報告する。

1♀ (非常に傷んだ個体), 英田郡西粟倉村若杉,  
29. VIII. 1995. 筆者採集・保管 (写真)

いわゆるゼフィルス類において、クロミドリシジミ・アイノミドリシジミ・キリシマミドリシジミといった一部の種では夏期に卵巣が休眠状態になり、産卵はそれ以降に行われるため、晩夏から初秋になっても♀成虫がみられることがある。フジミドリシジミは

われる。6月15日には残りの個体もいなくなっていた。羽化殻は探したが見つけることはできなかった。また、以前にも書いたように（守安, 1994a），コヤマトンボやコオニヤンマの幼虫が、植物性沈積物のたまつた落ち込みの底にいるのに対し、本種幼虫は、少し上部の砂の中か、岸に近い砂の中にもぐっていた。ただ、水温の低い冬季にはコヤマトンボのいるような深みに移動していた。

### 4 まとめ

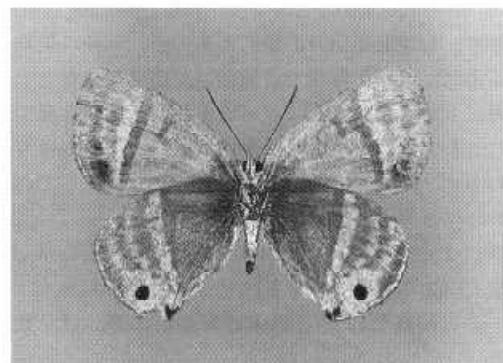
この池は、以前から本種が生息できる環境であったとは考えにくいため、以前に報告した高梁川の生息場所（守安, 1994b）から約9kmを飛んできた個体が、たまたまできていた砂地を見つけ、産卵に及んだのではないかと思われる。その当時（1991年）は、池の西側の泥の上に砂が堆積し、少なくとも10m<sup>2</sup>以上の砂地ができていたものと考えられる。

そう考えてみると、偶發的なものであるとしてもこの池で本種の生息が確認されたことにより、流れの大小にかかわらず、一定の広さの砂地があれば本種が産卵することや、羽化に至るまで成長できることが証明されたことになると考えられる。

なお、幼虫を含めた本種の生態については、今後も調査を継続し、明らかにしていきたいと考えている。

#### 引用文献

- 守安敦, 1994 a. 最近の種松山山系のトンボ. すずむし, (128) : 1-3.  
守安敦, 1994 b. 高梁川のキイロヤマトンボ. しぜんしくらしき, (11) : 12.



卵を少しづつ長期にわたって産む長期産卵タイプではあるが、卵巣の休眠は知られていない。

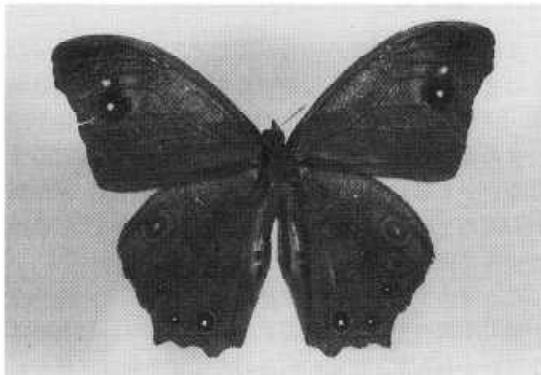
(〒812 福岡市東区箱崎2-15-8)

## ウスイロコノマチョウの早い記録

土 畑 重 人

ウスイロコノマチョウは、岡山県下では通常8月から11月にかけて採集されているようだが、筆者は、7月に採集された本種夏型個体を所持しているので、報告しておく。

1♂、倉敷市西中新田、12. VII. 1995、土畠源作採集、筆者保管



倉敷市庁舎の壁に静止していたものを採集したとのこと。破損もなく、新鮮な個体であった。

なお、県下での本種成虫の最も早い採集例としては、1991年7月2日に夏型1♀が採集された記録（中村、1992）がある。

## 参考文献

中村具見（1992）ウスイロコノマチョウ—1991年の採集記録、すずむし、(127) : 1-5  
(〒711 倉敷市児島通生236-3)

## イシガケチョウの採集記録

澤 田 博 仁

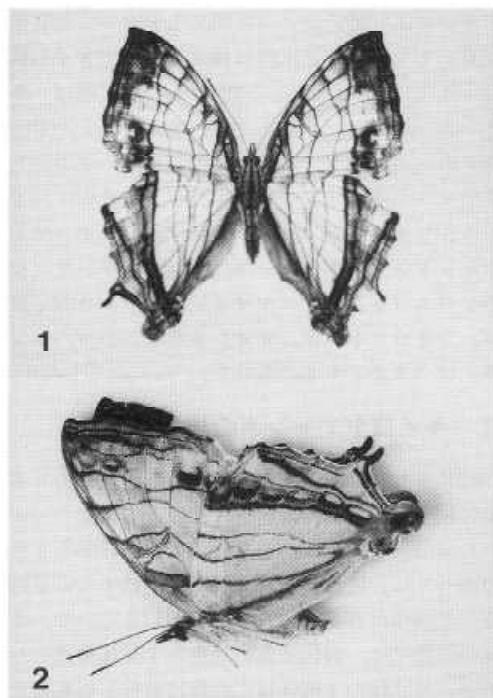
昨今、地球温暖化の影響によるのか、気候の変動が伝えられ、それに伴って各種南方系昆虫の分布北上がり、新聞紙上あるいはマスメディアを通して伝えられているところである。本種も本来南方系の蝶であるにもかかわらず、近年岡山県内において分布を拡大している種の一つと思われる。

筆者は、下記のとおり本種を採集しているので、分布拡大の途中経過を示すものとして報告しておく。

1♂（写真1）、御津郡御津町金山山麓、31. V. 1994

1♂（写真2）、岡山市津高台ダイミ山山麓、2. VI. 1996

なお、津高台での採集個体は、片翅が破損欠落した



状態だったので、展翅せず、三角紙保存している。

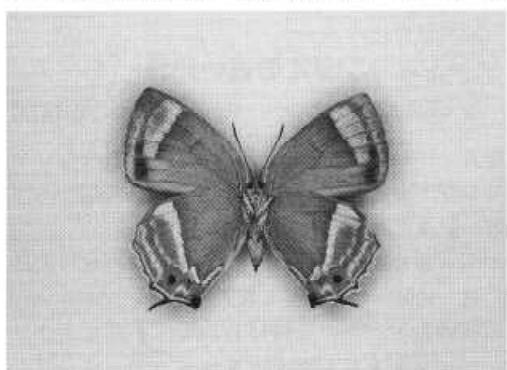
（〒700 岡山市厚生町二丁目1-8-1001）

## ハヤシミドリシジミの斑紋異常個体について

中 村 具 見

ミドリシジミ類の異常型のうち、裏面中央部の白帯に関する例は数多く知られているが、筆者もハヤシミドリシジミのこうした個体を得ているので報告しておく。

1♀、真庭郡川上村下郷原（550m）、16. VII. 1995



写真のように、前後翅裏面中央部の白帯が外方に流れるように拡大しており、また、左右で白帯の発現状況に違いが認められる。なお、翅表については全く異

常は認められない。

(〒719-11 総社市真壁1048)

### 岡山県における

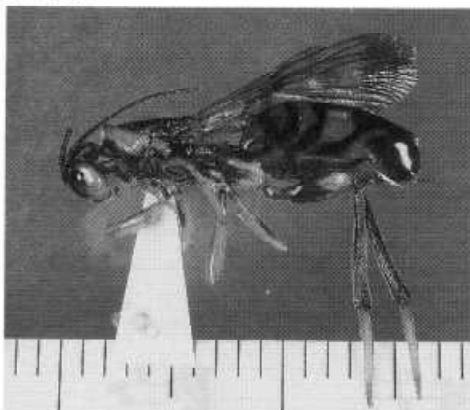
#### ヒラタタマバチ属の記録

松 本 吏樹郎

ヒラタタマバチ属は、1属のみでヒラタタマバチ科 Ibalidae を構成し、全北区を中心世界で15種、日本からは3種が知られている。筆者は岡山県下において、この属のハチを1種得ることができたので報告する。

ニホンヒラタタマバチ *Ibalia japonica* MATSUMURA

1♀, 新見市久保井野, 6. VI. 1993, 筆者採集・保管 (写真)



ヒラタタマバチ属は、Siricidae (キバチ科) 及び Anaxyelidae に寄生することが知られているが、この個体も倒れた切株にとまって、さかんにドラミングを行っており、穿孔性の昆虫、おそらくキバチへの寄生が予想される。ちなみに筆者は、同日、付近でクロヒラアシキバチ、オナガキバチの2種のキバチを探集している。

#### 参考文献

Gauld, L & B. Bolton (ed.), 1988, The Hymenoptera, 332pp. Oxford Univ. Press, New York.

Yasumatsu, K., 1937. Ibalinae of Nippon. Ins. Matsum., 12: 13-18.

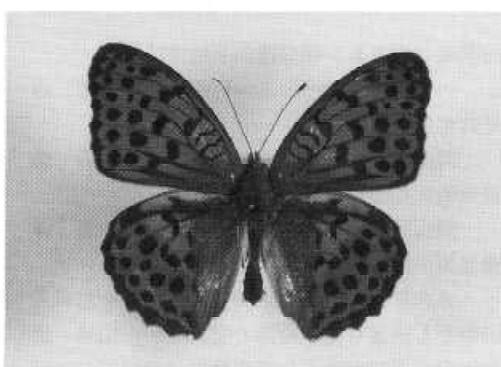
(〒812 福岡市東区箱崎2-15-8)

### ウラギンスジヒョウモンの採集記録

土 畑 重 人

下記のとおり熊山町でウラギンスジヒョウモンを探集しているので、分布資料として報告しておく。

1♂, 赤磐郡熊山町勢力, 28. V. 1995, 筆者採集・保管



岡山白陵中学校の校舎内に迷入した個体を採集した。当地では、今年(1996年)も本種らしいヒョウモン類を目撃している。

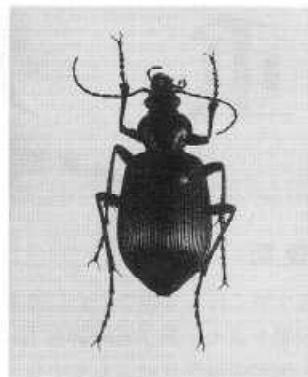
(〒711 倉敷市児島通生236-3)

### クロカタビロオサムシの採集記録

土 畑 重 人

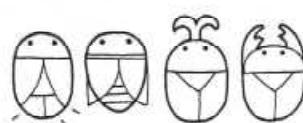
筆者は、県内では比較的記録の少ないクロカタビロオサムシを熊山町で採集したので、報告する。

1♀, 赤磐郡熊山町勢力, 26. V. 1995, 筆者採集・保管



正午過ぎに路面を歩行中の個体を得た。

(〒711 倉敷市児島通生236-3)



## -----目 次-----

岡山県産コガネムシ類の追加記録及び訂正	
.....竹内幸夫・山地 治	1
キイロヤマトンボの	
岡山県における分布と新産地.....守安 敦	6
伊藤芳明氏寄贈標本からの	
岡山県産昆虫目録〔その3〕.....小野 洋	8
吉備高原中部地域の	
メスアカミドリ分布調査記録.....中村具見	11
岡山県から採集した甲虫類の記録.....山地 治	19
種松山のキイロヤマトンボ生息地について	
.....守安 敦	22
 —おとしぶみー	
北房町でサツマシジミを採集.....中村具見	5
臥牛山における甲虫2種の記録.....土畠重人	5
クロツバメシジミ川上郡川上町での採集記録	
.....河原宏幸・太田亮二	9
セグロバッタの記録.....近藤光宏	10

アカアシクワガタの	
岡山県における南限記録.....松本吏樹郎	16
市街地で得られたCatocala 2種.....渡辺和夫	16
オオメコバネジョウカイの岡山県からの記録	
.....奥島雄一	17
キンケトラカミキリの記録.....奥島雄一	17
ウラゴマダラシジミを総社市で採集...土畠重人	18
キヨウトアオハナムグリの採集記録...奥島雄一	18
オツネントンボの記録.....奥島雄一	18
フジミドリシジミの遅い記録.....松本吏樹郎	23
ウスイロコノマチョウの早い記録.....土畠重人	24
イシガケチョウの採集記録.....澤田博仁	24
ハヤシミドリシジミの斑紋異常個体について	
.....中村具見	24
岡山県におけるヒラタタマバチ属の記録	
.....松本吏樹郎	25
ウラギンスジヒョウモンの採集記録...土畠重人	25
クロカタビロオサムシの採集記録.....土畠重人	25

医療法人  
**重井病院**

倉敷市幸町 ☎086(422)3655

## 編集後記

思い切って早く作ってみました。従来と比べてページ数が少なくなるのではと最初は非常に心配しましたが、駆け込み投稿を含め、皆さんの御協力によって予想以上に充実したものとなったようです。「すずむし」も運まきながら国際登録されたことですし、今後ともより一層中身の濃いものをお届けしたいと考えております。更なる御協力（特に原稿について）をよろしくお願いします。

(K.W.)

## す す む し 130号

1996年8月31日発行

発行者 倉敷昆虫同好会 (〒710 倉敷市幸町 倉敷昆虫館内)  
 Tel. 086(422)3655 (内線359) FAX. 086(421)1991  
 振替口座 01210-2-6927  
 印刷所 サンコー印刷株 (総社市真壁871-2)